

明るく未来へジャンプ

Public relations magazine

2014.10 No.722

てしかが

主な内容

- このマチに生きる……………②
- 防災ワンポイントコーナー……………⑩
- 使用済み小型家電の分別回収を行います……………⑫
- 国民年金保険料の免除・猶予の申請を!!……………⑭
- 第65回弟子屈町総合文化祭……………⑯
- 町税などの納期限/夜間納税窓口開設……………⑳

むかしむか史 (288)

てしかが歴史写真館 162



弟子屈の風景 郷土の自然 7  
～阿寒国立公園指定80周年～

弟子屈は、摩周湖・硫黄山・屈斜路湖などの景勝地に代表されるように、雄大で道東らしい自然を実感できる場所だが、町中の何気ない風景に人と自然の息遣いがある。

なんだろう橋は木製のアーチ橋で、橋から川の中をのぞき込むと魚が泳いでいる姿や水草のバイカモなどが見られる。美留和にさけますふ化場があり、今の時期はサケの遡上を間近に見ることができるが、遡上する姿には本能的な力強さがある。

水郷公園は水辺に湿性の植物が生育し、夏鳥はその環境を利用し子育てを終え南下するが、10月中旬には冬鳥のオオハクチョウが飛来し越冬する。公園内の樹木も葉を落とし寒々しい景色であるが、冬鳥たちが渡ってくる騒がしい時である。

釧路川の河川改修を行う前は町中も川が蛇行していたが、直線化と堤防設置でその風景は変わった。堤防を歩きながら川の流れや景色を眺めると、ゆったりとした気持ちになるが、堤防から見ると美羅尾山には町とつながりを感じる大らかさがある。「美羅尾山に雲がかかると天気が崩れる前ぶれになる」と言われ、観天望気の役割もする生活に根差した山である。以前はスキー場があり、冬にはスキー授業などが行われ、町内の皆が行く山で冬の賑わいがあった。

弟子屈の市街地は自然に包まれ、日常生活の中で季節の変化を感じる豊かさがあり、人の営みと自然が重なり合う風景は、弟子屈らしさの一つなのである。

てしかが郷土研究会(藤江)

てしかが 2014.10

毎月1回発行 発行/弟子屈町 編集/まちづくり政策課 ☎482-2913 ㊟482-2696  
〒088-3292 弟子屈町中央2丁目3番1号 URL <http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

12100 この広報紙には再生紙を使っています



人口減少時代をどう生き延びるか  
住みやすさをどう維持していくか

# このマチに生きる

本町の人口減少が止まりません  
今年1月末には、とうとう8千人を割り込みました  
今後も人が減っていくことは避けられないかもしれません  
そういった状況の中で  
マチが活気を取り戻すためには  
自立していくためには  
今、一体、何が必要なのか…

8月21日  
人口問題フォーラムを開催しました  
テーマは「人口減少下における弟子屈町のまちづくり」  
フォーラムで明らかになった  
マチの現状と、これからの見通しを紹介します

わたしたちのマチのこれからを  
あなたも一緒に考えてみませんか  
今日が、その第一歩です



# てしかが人口事情 過去・現在・未来

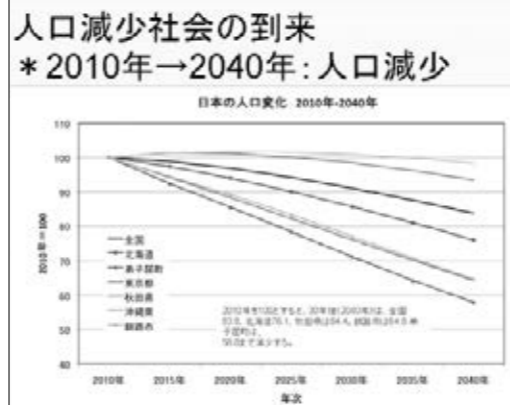
人口問題フォーラムでは、札幌市立大学デザイン学部の教授である原俊彦氏を講師に招き「弟子屈町の人口ーその将来を考える」と題した講演を行っていただきました。原先生は日本人口学会の会長であり、人口推計に関する研究の第一人者。本町の第3次総合計画策定時には、アドバイザーも務めています。講演の内容から、本町の人口動向と今後の見通しに迫ります。



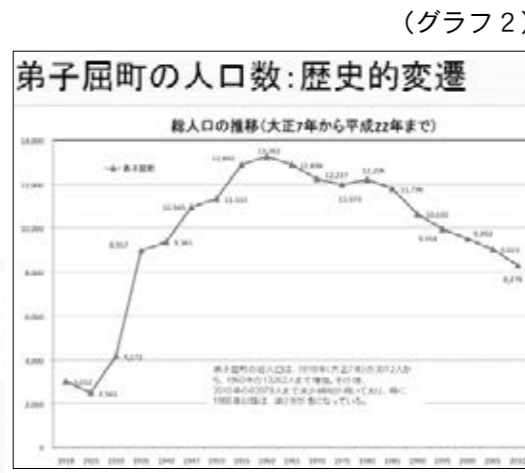
**原 俊彦(はら としひこ)氏**  
 1975年早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。1977年～1982年フライブルグ大学(ドイツ)哲学部第四類に留学、社会学・政治学・経済政策専攻、社会学博士取得。帰国後、財エネルギー総合工学研究所(主任研究員)を経て、樺研究開発コーディネーターを設立(代表取締役)。1988年北海道東海大学国際文化学部助教授、1995年同教授、2006年から現職。

## 日本全体と弟子屈

(グラフ1)は2010年の人口を100として、2040年にはどうなるかを表したものの。全国で一番減り方が少ないのが沖縄県。それでも30年後には減少に転じる。秋田県が全国で一番人口減少率が高い。釧路市の人口の減り方は秋田県とほぼ同じパターン。弟子屈町は2010年を100とすると、2040年に58.0と4割減少する。弟子屈町が全国で一番減少率が高いように見えるが、ここに弟子屈町を取り上げているだけで、もっと減少する地域はほかにもある。



(グラフ1)

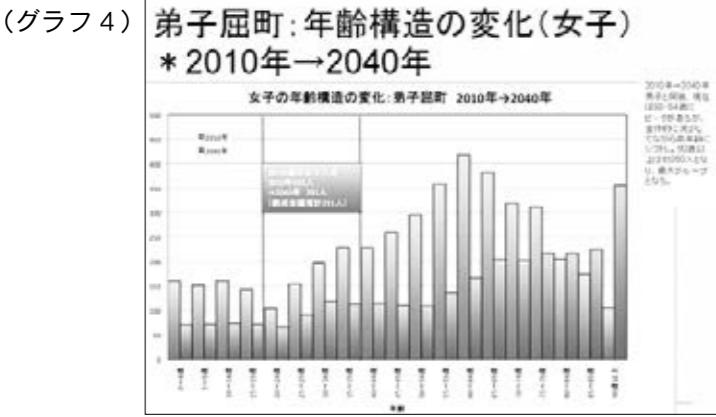
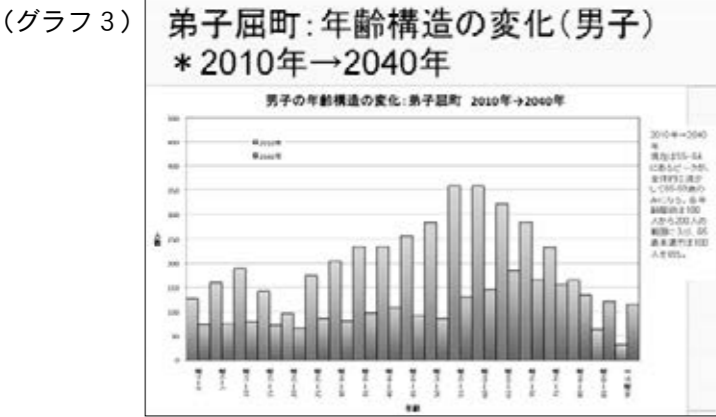


(グラフ2)

## 弟子屈の年齢構造

(グラフ3)のとおり、弟子屈町の男性で一番多いのは団塊の世代、60～64歳くらいとその次の世代にピークがある。そこから上の人たちはもう少し少なくて、そこからだんだん少なくなっていくパターン。30年後が隣の棒グラフ。ピークは65～69歳。それよりも上の世代は、現在よりもむしろ増える。対して、それ以下の年齢が薄くなっている。特に55歳未満は、各世代100人を切る。

(グラフ4)のとおり、女性も同様に、現在は65歳くらいのところに山があるが、2040年にはこの山がしぼんでいって上にせり上がってくる。男性と違うのは、90歳以上が350人と一番多いこと。それ以下の世代が急激に少なくなり、若者が70人くらいまでしぼんでいく。子どもを産み、育てる世代が減る。この人たちが現在と同じ率で子どもを産んだとしても、現在と同じ数は生まれてこないということ。



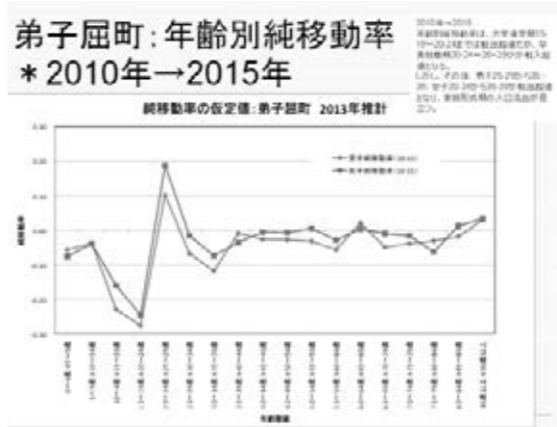
## 年齢構造の変化①

(グラフ5)は年齢3区分といって、実際の人口数がどう減るかということを示したものの。線が引いてあるところから先は推計。2010年現在で15歳未満の人口の数は約950人。2040年には444人と、ほぼ半減。もっと問題なのが、生産年齢人口といって15～65歳、働いて税金を納め、子どもを育て、親の面倒を見るような人たちの数も、4,731人から2,061人に半減すること。高齢者も、どんどん増えるのではなく、これからは減っていく。現在の2,600人くらいから2,200人くらいまで減る。比較的減り方が遅いのは、長寿化の効果。



(グラフ7)は、どの年齢で、どれくらいの人が出たり入ったりしているかを表したものの。15～19歳、20～24歳、就職・進学年齢のところでマイナスが大きくなり、その後20～24歳、25～29歳で少し戻ってくる。その後さらに沈み、かなりの広い年齢、特に男性の人口流出が進んでいる。

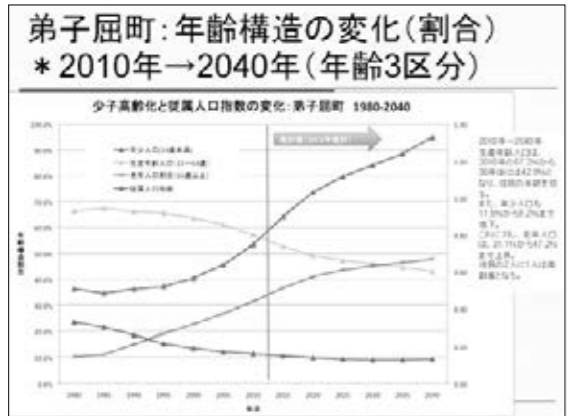
## 年齢別の移動動向



(グラフ7)

## 年齢構造の変化②

15歳未満の子どもの数が(グラフ6)の一番下の線。1980年くらいは20.2%、町民の5人に1人は15歳未満だったが、現在はほぼ10%。それがさらに、割り込む形になる。対して65歳以上の高齢者の比率は、どんどん高くなっていく。2040年には50%に近づく。現在は30%くらい。生産年齢人口もずっと下がっている。人口全体の40%くらいまで下がる。支え手が人口全体の4割くらいまで減ってしまうということ。



(グラフ6)

## 弟子屈の人口動向

国勢調査の始まった1918(大正7)年が3,012人。1925(大正14)年に2,501人まで減り、それからどんどん人口が増える時代。戦前もずっと増加を続け、終戦間際くらいで11,300人。北海道は戦後の食糧難のときに唯一転入超過となっているが、その動きも反映されている。1960(昭和35)年の13,262人が国勢調査上のピーク。そこから減少が始まる。私が第3次総合計画の関係などで弟子屈町を訪ねたとき、10,000人を切るかという状況だった。それから20年間で、現在の8,000人くらいの規模まで減ってきた。特に1980年代から減り方が激しくなっている。バブル経済の崩壊による日本の経済的な動向を反映していると考えてよい。(グラフ2)



# それぞれの思い

人口が減っていく中、今後どうしていけばいいのか：講演内容から、原先生が考える可能性と方策を紹介します。

## 人口が減ると何が問題か

人口が40%ほど減ると、建物も40%程度、遊休化する可能性がります。放っておくと風景が荒廃し、生活基盤、道路や上・下水道などがどんどん老朽化していきます。15歳未満人口が半減する可能性があるため、保育園・幼稚園・小学校・高校の統廃合が避けられませんが、児童公園などの施設は、使う人がいなければ必要がなくなります。再利用か閉鎖かの選択が必要になります。そして何より、少なくなっていく子どもをどう守り、育てていくのか。そこをうまくカバーできないと、子育てができなくなり、本来なら残る人も残らなくなります。

大学進学期と家族形成期の人口流出は、現状のまま変化しないとすると非常に問題です。学生によそに行くなどということは言えませんが、戻ってきてくれるような方策を考える必要があります。高齢者が相対的に増えます。高齢者は大部分が年金生活者のため、税収が落ち込み、消費需要が低迷します。また、介護や看護といったケアを行う人の数が足りなくなりますが、高齢者は、自己管理で元気に暮らすということが中心になると思います。

## 地域存続の理由を明確に

人口が減り、高齢化が進んでいくときには、地域を持続させる必要

## 本町の人口の「これから」

- ▷人口は30年後までに4割程度少なくなる。
- ▷15歳未満の方は半減して、人口全体の10%を切る。
- ▷生産年齢人口も半減して、人口全体の4割くらいになる。
- ▷老年人口はわずかに減少するものの、50%に近づく。
- ▷年齢構造的には、男女ともほとんどの年齢階層で人口規模が縮小。女性の90歳以上だけが增加。
- ▷移動率については、大学進学期の転出超過が続く。就職期に少し転入超過があるが、あとはほぼ全年齢で転出超過が進む。

原先生の講演から



須藤 直武 さん

神奈川県須賀市出身、東京生まれ。2年間シンガポールに赴任。定年退職後、奥さまとともに美留和地区に移住。2006年から町移住アドバイザー。

定年退職後、自然を相手にゆつくり生活してみたいという思いから移住してきました。なぜ弟子屈町か。

北海道全体から見れば、自然の豊かさは共通項ですが、弟子屈町は東京23区くらいの面積でありながら、意外と変化が多いマチだというのが魅力でした。そして土地が非常に安い。友人や親戚が多い東京都とのアクセスがいい。冬に晴天が多い。温泉が豊富で費用もリーズナブル。このあたりがポイントとなりました。

弟子屈町は酪農と畑作を中心とした農業の町。自然景観と調和した美しさを保つた町であるべきです。それは、観光産業と協業することであります。美しい景観は、観光にとって当たり前に重要なこと。私たちが観光産業に従事している意識で行動することが重要です。また景観の整備は、建物など外観上の統一も大きなポイントだと思います。時間のかかる問

題ですが、町の最重要政策として考えていってほしいですね。こうした努力を重ねて、マチとしての魅力をつくり上げ、マチを訪れる人たちが移住希望者に「住んでみたい」という気持ちを持たせること。弟子屈町は、それを実行できる素地を持っていると感じています。

さらに、通信環境の良さを利用してIT産業などの誘致にももつと力を入れるべきです。豊富な自然エネルギー、温泉や地熱を活用した美しい自然の中での生活というものは、都市住民にアピールできるのではないかと思います。そして、開けた弟子屈町。日本人のみならず海外の人たちもみんな受け入れるのもいいのではないのでしょうか。

こうした場合を発信するため、町のホームページを含め、広報活動をもっと工夫すべきです。人がいること、人が来ることを、全ての活動の基本ではないかと思えます。これを達成するために、町民がベクトルを合わせる、力を結集する。失敗を恐れずに立ち向かう。常に前向きに、ポジティブに考えていきたいと思っています。私も微力ながら、移住アドバイザーとして今後も協力していくつもりです。

性をはつきりさせましょう。

このままの形の地域をそのまま存続させるのは、なかなか難しいので、他の自治体との連携や統合など、多様な選択肢を選ぶ必要が出てきます。

地域の存続・機能について、地域の中で合意形成をすることが必要です。地域の機能をできるだけ集約して、維持する方向に持っていくようにしましょう。近隣地域や上位自治体、民間との連携や役割分担を進めて、他に任せられるところはどんどん任せ、自分たちが本場にやらなければならぬことだけに集約する必要があると思います。

過去の計画を見直す必要もあります。かなりの計画が、人口が増加する時期につくられたもの。人口が減少する時代に合わせて、つくり直すなければなりません。

## 具体的に考えられること

人口が減っていくのは避けられないので、人に来てもらわなければなりません。国際的、全国的な新産業を誘致して、就労機会を創出するという手もあるでしょう。弟子屈町には阿寒国立公園と屈斜路カルデラ、摩周カルデラという世界的な自然資源があります。夏季の冷涼な気候や冬の積雪、空気がきれいで水が透明だということも価値があります。

それでいて、通信や交通アクセスは十分に確保できるため、いろいろな産業を誘致できるかもしれません。自然保護や研究の機能を立地させ、他の地域とネットワーク化する。自然志向型のリゾート基地をつくる。医療、介護、健康志向型のリゾート基地をつくる。企業を本社ごと移転してもらって、業務を続けてもらうというのも在り得なくはない。

## 自分で今後のことを選択

今後、自治は変わります。住民は今までは行政サービスの受容者でしたが、そういう時代は終わります。住民は「市民」として、その地域の主体となります。税収や歳入・歳出の責任は市民が追います。行政の役割は、市民からの委託に基づいて専門的なサービスを行う形に変化していきます。

地域をいっただいどのようになるのかについて、話し合い、自分たちが選択する必要があります。

## 貨幣に頼らない生活様式と本当のふるさと教育

夫が釧路川でカヌーのガイドをするため、こちらに引越してきました。こちらに来てから「弟子屈町の宝は何ですか」とよく聞かれます。私の答えは水。水が創り出している湖。そこから流れ出ている釧路川。川湯温泉や摩周温泉といった温泉……。水がこの町の一番の宝物です。水が創り出している風景が美しく、その中で暮らせることが喜びです。

人口減の背景要因は少子高齢化や都市への人口流入と、いかんともしがたい流れの中で起こっていることで、今後も減り続けていくという前提で、まちづくりを考えていかなければならないと思います。大事にしなければならぬのは、少ない人口でどれだけ豊かに暮らせるかということ。人口が少なくなっても、住んでいる人一人一人がみんな幸せに心豊かに暮らせるようなまちづくりができれば、それが一番理想です。でも、これはなかなか難しいことだとも思います。

人が減るということは生産人口が減少するということ。担い手不足、流通の停滞などいろいろな側面が考えられますが、物価が高くなることも考えられます。北国での物価高は死活問題です。



木名瀬 佐奈枝 さん

奈良県出身。1996年に神奈川県から札幌市に移住。2人の息子の4人家族。2013年から町総合計画評価委員。

そうした中で、大切なことが二つあると思います。一つは、貨幣に頼らない生活様式を意識を変換していくということ。市民は昔の知恵を掘り起こし、現代に合うように工夫しながら活用する。地域の中でお金やモノが循環していくような仕組みづくり、いろいろな人や新しい価値観と出会う場づくりができればいいと思います。政策レベルでの変換も必要です。弟子屈町には恵まれた資源がたくさんあります。これを持続可能な範囲で活用しながら、地域として持久力を高めていけたらいいと思います。もう一つは、本当の意味でのふるさと教育。通り一遍の教科書でさつとなぞるようなものではなく、生きる力や考える力を育むものが本当のふるさと教育だと思います。時間があかきり、結果がすぐ出るものではありませんが、どんな環境でも自分の頭で考えることのできる力、判断力、行動に移せる実行力を身につけて、自己肯定感を高めることのできる教育が求められていると思います。



わたしたちのマチのことだから  
一緒に考えていきましょう  
自分たちで選んでいきましょう  
未来に明かりをともしていきましょう  
そして  
このマチで生きていきましょう



弟子屈町長 徳永 哲雄

弟子屈の力、町民の力を上げて

人口が減ってきて、経済にもいろいろな影響が出ています。また本町の二大産業、観光と農業も厳しい局面を迎えています。そのような中で、本町がいかにしてこの豊かな自然環境を生かしながら活性化していけるか。本町の良いところを、どう伸ばしてまちづくりをしていくか。いかにこの地を選んでもらえるか…。皆さんに町政に参画してもらって、本当に住んでよかったなと思えるマチ、安全で安心して暮らせる社会をつくっていききたいと思っています。

まずは、地域で子どもを育てる社会。本町の少子化も進んでいます。若い方々が結婚して、子育てがしやすいような環境をどうつくるかが課題です。

もう一つは福祉の関係。現代は、親を子どもたちが見る状況ではなくなっています。夫婦2人で子どもが2人いないという状況下では、他人の親であっても自分たちの親としてみんなで見ていく必要があります。そうしたことをしっかりと確立していかなければなりません。

そのためには、弟子屈の力、町民の力の二つを上げていく必要があります。

子どもたちが元気で活発に活躍する、お年寄りも安心して暮らすマチ。そういったことをしっかりと進めていけば、弟子屈の力、町民の力がアップしていくのではないかと考えています。

問い合わせ先/役場まちづくり政策課政策調整係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

# みんなが考えるこれから

これからの弟子屈町を担う若い世代は、マチをどんな風を感じているのでしょうか。各校の児童会長・生徒会長に聞いてみました。

和琴小学校 5年  
本間 由奈さん



児童会で話し合いました。弟子屈は自然豊かで、ハクチョウがやってくるころ、温泉もあり、都会ではないところがいいです。刺すような虫はちょっと苦手ですが…。  
これからは、各地域や学校にプールがあって、みんなが健康に過ごせる町、犯罪のないマチになってほしいです。

川湯小学校 6年  
種田 有希君



弟子屈の自然が好きです。あと、弟子屈の人は温かいです。僕があいさつをすると、笑顔で返してくれます。家族で楽しめるような、大きなショッピングセンターがあれば、もっといいです。  
これから、さらに自然豊かになって、摩周湖や屈斜路湖もきれいになり、観光客や人口が増えたらいいです。

弟子屈小学校 6年  
小濱 朋哉君



児童会のみんなで考えました。自然が多く、水や空気や食べ物がおいしいところ、温泉があるところが、弟子屈の魅力だと思います。半面、遊具のある公園や街灯が少ないのが残念です。  
自然はそのまま、デパートや温泉で活性化させ、人がたくさんくるようなマチになったらいいなと思います。

昭栄小学校 6年  
三田村 優音君



町の中にも緑があるところ、地場産の食材にこだわったおいしい飲食店があるところが好きです。対して、買い物をするお店がとても少ないので、何でも町内で買えたらいいなと思います。  
これからも、弟子屈の自然は減らさないでほしいです。

奥春別小学校 6年  
守屋 陽平君



摩周湖など世界的にも有名な自然や、温泉があるところが誇りです。ですが、移動手段が少ないところ、大きなショッピングモールなどが少ないところは、少し不便だなと思います。  
将来、弟子屈の自然や食べ物などが世界中でもっと有名になって、今よりもっと観光客が増えてほしいです。

美留和小学校 6年  
阿部 宏紀君



弟子屈には自然がたくさんあり、摩周メロンやジャガイモなど、食べ物がおいしいところが好きです。  
僕たちは地域の美化活動を行っていますが、通学路などにごみが落ちていくことが多くて残念に思います。  
弟子屈は環境に優しいマチになってほしいと思います。

弟子屈高校 3年  
今井 玄君



弟子屈には温泉があり、毎日、身を癒せるところが魅力です。  
対してさびしいのは、市街地のメインストリートにお店が少ないことです。将来は、町内でシャッターの閉まっている建物が減って、活気のあるマチになってほしいと思います。

川湯中学校 3年  
瀬原 彩花さん



摩周湖や屈斜路湖といった、きれいな湖があるところと、周りに豊かな森林があるところが、弟子屈町の好きどころです。  
将来は、今よりもっと、地域の人たちと交流を持てるようなマチになってくれたらいいと思います。

弟子屈中学校 3年  
那須 喬君



弟子屈は自然が多く、緑に囲まれていて、水がおいしい、いい町です。自然が多いため、道路にシカなどの動物が飛び出してくることもありますが…。また、市街地を離れるとお店が少なくなるのは不便ですね。  
「弟子屈町」が、なくならないでほしいので、人口がもっと増えたらいいです。

—かべ新聞のテーマに、弟子屈の人口問題を選んだ理由は？

弟子屈の人口が減っていると聞いたので、自分たちでもっと調べて知りたい、周りにも知らせたいと思ったからです。

—取り組んでみた感想は？

思っていたより深刻な状況で、大変な問題だと思いました。

—今後について考えたことは？

私たちは中学生なので、できることは限られていますが…。例えば、部活動などで活躍して弟子屈が目されるようになれば、もっと人が集まってくるのではないかと考えています。



左から中野君、大井さん

## 弟中生も町の人口を考えています

弟子屈中学校3年の中野湧層君と大井美侑さんが、かべ新聞のテーマとして弟子屈の人口問題を取り上げました。

2人は原先生へのインタビューを行ったほか、人口問題フォーラムへも参加し、熱心に聴き入っていました。



## 川湯中学校で硫黄山(アトサヌプリ)の噴火を想定した避難訓練を実施

### いざというときに備えた訓練が大切

川湯中学校(武山昇校長)で9月3日、硫黄山の噴火に備えた避難訓練が行われました。

訓練の設定は「硫黄山の水蒸気噴火により、川湯温泉地区の住民が既に避難していた。さらに規模の大きな噴火が起きることを予期しつつ授業を継続していたところ、本格的な噴火の兆候が始まり川湯温泉街全域に避難指示が発令。川湯中学校は学校単位で、野上峠～裏摩周～萩野経由で弟子屈中学校へ避難する」といったものです。訓練では、伊藤賢次教頭の車両が道路状況を確認しつつ先行し、残りの職員と生徒は教職員の車両に分乗し避難。温泉街から約3キロ北側にある国道391号沿いの駐車場帯で合流し、全員の安全を確認しました。避難開始指示から全員が避難完了するまで約7分と、安全かつ冷静に避難することができました。

訓練後、武山校長が「私たちは、硫黄山ができたことにより温泉ができて自然の恵みを受けているが、広島や礼文島のような大きな自然災害がいつ発生するか分からない。普段から訓練をして、被害を未然に防止することが大事」と講評しました。

生徒たちは「最初は何をしてよいのか分からなかったが、やってみて避難の要領を理解することができた。避難準備を習慣化するためのよい訓練だったと思う」と話していました。



講評を述べる武山校長(右)と教職員の車に分乗して避難する生徒たち(左)

### 町でも硫黄山噴火に備えていきます

硫黄山は現在、盛んに水蒸気を吹き上げているものの、安定した状態が続いています。「直ちに噴火する可能性は低い」と言われていますが、約1,500年前に現在の溶岩ドームが形成された後、最近では約300～500年前の水蒸気噴火により『熊落とし火口』が形成されています。

2000年(平成12年)3月末には、洞爺湖の南側にある有珠山が大噴火しました。しかし、事前の準備が万全であったため、全員が安全に避難することができました。

硫黄山についても、噴火を想定した具体的な準備が必要です。町では来年春をめどに、気象庁と連携して5段階の噴火警戒レベルに応じた避難要領(避難準備～避難)を具体化し、防災計画(火山防災対策)改定の作業を進めていきます。

※溶岩ドーム/非常に粘性の高い溶岩でできていて、大爆発ではなく、大小の噴火を繰り返しながら、ゆっくりと山の形を変形させて、現在に至っています。この形状になるまでに、数年から数十年はかかっていると考えられます。

問い合わせ先/役場総務課情報防災係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 2 (課直通)

# 総合防災訓練を行います

防災ワンポイントコーナー

日時/10月29日(水) 10時～13時

場所/弟子屈中学校体育館・同校敷地内

町では「役場～警察署～消防署～弟子屈中学校～道の駅摩周温泉」の一带を防災拠点として整備しました。弟子屈中学校は、太陽光発電により停電時も体育館の照明・暖房の電力が確保できるほか、同校に隣接する学校給食センターも、屋外にある非常用発電機により停電時でも給食活動を継続できるようにしました。

さらに、同校近くの旧給食センターを防災備蓄倉庫として改修。非常用食料・飲料水や毛布などの防災備蓄品のほか、可搬式発電機を保管しています。

これらの防災拠点を活用して、弟子屈町総合防災訓練を行います。震度6弱の弟子屈直下型の地震が発生したとの想定で、警察・消防・自衛隊やその他の協力団体・企業の協力のもと実施。実施日には、消防のスピーカーで訓練を予告します。また、訓練の直前にも、あらためてご連絡します。

お近くの方は、ぜひ訓練にご参加ください。また、多くの方の見学をお待ちしています。



### 訓練の概要

時間	場所	内容	参加者
10:00～	憩いの広場	訓練開始式	全訓練参加機関 (株)大栄電業(非常用発電機設置)
10:15～	体育館とその周辺	避難所開設～避難者の輸送～避難者の受け入れ	中学校近隣の住民、役場、弟子屈警察署、陸上自衛隊第27普通科連隊
10:40～	体育館	訓練展示・体験(段ボールベッド組み立て、災害用電話などの説明、AEDによる心肺蘇生など)	近隣の住民(避難者) 防災関係機関・企業
11:25～	体育館入り口広場 憩いの広場	保存水袋による給水体験 災害用トイレの説明 炊き出し準備の説明・展示	役場、陸上自衛隊第27普通科連隊 釧路開発建設部弟子屈道路事務所 北海道LPガス協会釧路支部
11:30～	憩いの広場	倒壊家屋からの救助訓練展示	弟子屈消防署
12:00～	憩いの広場	訓練終了式	全訓練参加機関
12:10～ 13:00	体育館	非常食の試食 災害用電話の体験など	弟子屈町女性団体協議会 NTT、NTTドコモ





**Q** 使用済み小型家電で、出せないものは？

**A** 電化製品ではないものや、プリンターのインクなどの付属品、家電リサイクル法対象品目は出せません。

▶家電リサイクル法対象品目／洗濯機と衣類乾燥機・冷蔵庫と冷凍庫・エアコン・テレビ



### 回収対象となる主な対象小型家電

 携帯電話	 電話機	 ビデオカメラ	 携帯型ゲーム機
 携帯型音楽プレーヤー	 ノートパソコン	 ドライヤー	 電気アイロン

## 10月から 屈斜路郵便局で家庭用ごみ袋を 屈購入できます!!

ごみ袋取扱店の閉店により、屈斜路地区にお住まいの皆さんにはご不便をお掛けしていました。10月1日から、屈斜路郵便局で家庭用ごみ袋を購入することができますので、ぜひご利用ください。

▶屈斜路郵便局の営業時間／月～金曜日の9時～17時(祝日、12月31日～1月5日は除く)  
▶家庭用ごみ袋(廃棄物処理指定容器)の価格

区分	大(45ℓ)	中(30ℓ)	小(15ℓ)
燃やせるごみ用(桃色)	1,166円	777円	388円
燃やせないごみ用(黄色)	1,166円	777円	388円
資源ごみ用(緑色)	129円	108円	64円

※販売価格は町内一律です。



問い合わせ先／役場環境生活課環境係 ☎ 4 8 2 - 2 9 3 4 (課直通)

11月から

# 使用済み小型家電の 分別回収を行います

サイクルのすすめ



方法は「ボックス回収」「処理場への自己搬入」の2通り

平成25年4月に「使用済み小型家電等の再資源化の促進に関する法律」が施行され、レアメタルなどの貴重な金属をリサイクルし、ごみの減量と資源の循環を図ることへの努力が義務付けられました。

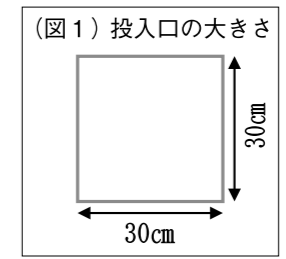
町では、ごみの減量や資源の再生利用促進のため、使用済み小型家電の分別回収を11月から実施し、小型家電の再資源化を図っていきます。

**Q** 使用済み小型家電って、どんなもの？

**A** 不要になった電化製品や電子玩具などで、原則として電気・電池・バッテリーで動作するものです。携帯電話・ラジオ・ビデオカメラ・携帯型ゲーム機などが、これにあたります。

**Q** どうやって出したらいいの？

**A** 出し方は2通りあります。



- ①ご自分で回収ボックス(右の写真)へ入れる
    - ▶料金／無料
    - ▶投入口に入る物に限ります。(右の(図1)を参照ください)
    - ▶回収ボックスの設置場所／役場・川湯支所・弟子屈郵便局・川湯郵便局・屈斜路郵便局
    - ▶投入可能時間
      - 役場・川湯支所／月～金曜日の8時45分～17時30分
      - 各郵便局／月～金曜日の9時～17時
- ※役場・川湯支所・各郵便局とも、祝日・年末年始(12月31日～1月5日)は、お休みです。

- ②ご自分で美留和处理場へ直接搬入
    - ▶料金／無料
    - ▶搬入の際、大きさ・容器は問いません。
    - ▶搬入可能時間
      - 月～金曜日／9時～16時
      - 土曜／9時～正午
      - 第2・第4日曜日／9時～正午
- ※12月31日、1月1日、1月2日は、お休みです





収入が減って国民年金  
保険料を支払えない  
なあ…



経済的に苦しくて、昨年  
から国民年金保険料を  
納めていないわ…

こんなときには

## 国民年金保険料の免除・猶予の申請を!!

### 申請期間

- ▶過去の分/2年1カ月前の分まで
  - ▶将来の分/翌年の6月分まで  
(1~6月に申請する際は、その年の6月分まで)
- 申請が遅れると、万が一の際に障害年金などを受け取ることができない場合があります。申請は、速やかにされるようお願いします。

### 免除申請(全額・一部)

本人、配偶者、世帯主それぞれの前年所得(さかのぼって申請される際には、その年の前年所得)が一定以下の場合や、失業などの理由がある場合、申請により保険料が全額または一部免除となります。

※一部免除の場合、納付すべき保険料を納付されないと一部免除が無効となり、未納の扱いとなります。

※配偶者とは、別居中の配偶者や生計を同一にしていない配偶者も含まれます。

### 若年者納付猶予申請

30歳未満の方(学生の方を除く)で、本人、配偶者(別居中の配偶者を含む)それぞれの前年などの所得が一定額以下の場合、申請により保険料の納付が猶予されます。

### 添付書類

失業したなどで免除申請される方は、雇用保険受給資格者証などの写しが必要です。

### 保険料の追納制度(後払い)

免除や納付猶予の承認を受けた期間は、保険料を全額納付したときに比べ、将来受け取る年金額が少なく算定されますが、過去10年以内の期間については、追納することで将来の年金額を増やすことができます。

保険料を未納のままにしておくと、将来、老齢基礎年金や障害基礎年金などの受給申請の際、年金を受給する資格がないとされることもあり得ます。やむを得ない事情があるときは、保険料納付の免除・猶予制度をご利用ください。

申請は、役場総合サービス室または日本年金機構(年金事務所)で受け付けています。

問い合わせ先/役場環境生活課総合サービス室 ☎ 4 8 2 - 2 9 3 4 (課直通)

## 地方税合同公売会を開催します

道(総合振興局)と市町村などでは、差し押さえた財産の合同公売会を開催します。公売会では差し押さえた物件を会場に陳列しますので、ご確認の上、入札やせり売りに参加することができます。(物件によっては、当日は陳列されず、別の場所での事前の下見や事後の引き渡しとなる場合があります)多くの皆さんの来場をお待ちしています。

詳細は、釧路総合振興局のホームページをご覧ください。

- ▶日時/10月18日(土) 10時(競り売り開始)/11時・入札締め切り/正午)
- ▶場所/旧釧路市立東栄小学校体育館(釧路市弥生2丁目1番33号)
- ▶参加団体/釧路総合振興局・根室振興局、釧路・根室管内市町村、釧路・根室広域地方税滞納整理機構
- ☐問い合わせ先/役場税務課納税係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 4 (課直通)、釧路総合振興局納税課 ☎ 0 1 5 4 ④ 9 1 7 1 まで。URL [http://www.kushiro.pref.hokkaido.lg.jp/ts/nzi/index\\_nzi.htm](http://www.kushiro.pref.hokkaido.lg.jp/ts/nzi/index_nzi.htm)

## 総合サービス室は

どうぞお気軽にご利用ください

## 役場の総合案内窓口です

「この届け出、どこに出したらいいのかしら…？」  
「〇〇課って、どこかしら…？」

役場にいらしたときに、こんな風にお困りになったことはありませんか。役場で分からないことがありましたら、1階中央の環境生活課総合サービス室にどうぞお尋ねください。次の業務も、従前どおり総合サービス室で行っています。

- ▶戸籍の届出・交付
- ▶住民登録関係
- ▶印鑑登録・証明書交付
- ▶国民年金の各種手続き
- ▶パスポートの申請・受付・交付
- ▶町民等宿泊支援事業利用券の交付
- ▶入居証明の申請・交付



役場に行ったら、まずは総合案内窓口  
(環境生活課総合サービス室)へ

問い合わせ先/役場環境生活課総合サービス室 ☎ 4 8 2 - 2 9 3 4 (課直通)

## 『発見! てしかが人』参加者を募集します

てしかがえこまち推進協議会温泉街部会

### 10月の予定

- ☐国立公園の中の弟子屈
- ▶日時/10月8日(水) 13時~14時30分
- ▶場所/川湯エコミュージアムセンター

- ☐顧客満足度
- ▶日時/10月16日(木) 19時~20時30分
- ▶場所/川湯ふるさと館

- ☐ユニバーサルデザイン
- ▶日時/10月30日(木) 13時30分~15時
- ▶場所/ピュアフィールド風曜日

※参加料は1回につき500円  
※現地集合・現地解散  
※当日参加もできますが、なるべく事前のご予約をお願いします。

☐予約・問い合わせ先/てしかがえこまち推進協議会温泉街部会 酒巻 ☎ 0 9 0 - 6 4 4 6 - 7 2 3 0 まで。

てしかがえこまち推進協議会温泉街部会では、町民の皆さんが地元を深く知り、地域全体でお客さまをもてなすことができるようになるまちになることを目指し、講座「発見! てしかが人」を開催します。

「発見! てしかが人」は、町内のさまざまな職種の方や役割を持っている方を講師に招き、普段聴くことができないお話を聴いたり、体験を行ったりすることによって、弟子屈のことをより深く知ってもらおうというものです。

地元を深く知ることで、弟子屈をより一層愛することにつながり「暮らすこと」と「まちを訪れた方をもてなすこと」の両方が、まちの皆さんの喜びとなるように企画しました。弟子屈の人や仕事の存在を知っていても、そのとき、その場所で、その方にしか語れないことがたくさんあります。当たり前だと思っていた、まちの豊かな自然や資源を、普段とは違った視点で見ることができるかもしれません。

講座は全部で15回ですが、興味のある回のみ参加も歓迎します。奮ってご参加ください。

問い合わせ先/てしかがえこまち推進協議会事務局(役場観光商工課観光振興係) ☎ 4 8 2 - 2 9 4 0 (課直通)



# 地方公共団体財政健全化法に係る健全化判断比率などの状況

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、本町においても平成25年度決算について算定した財政指標について、広報紙と町のホームページで数値を公表します。

また、平成20年度から義務付けられた計画策定に係る早期健全化基準や財政再生基準については、平成25年度決算数値においては基準内の数値となっています。

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	資金不足比率
弟子屈町の数値	—(※)	—(※)	13.8%	106.5%	—(※)
早期健全化基準	15.00%	20.00%	25.0%	350.0%	(経営健全化基準) 20.0%
財政再生基準	20.00%	30.00%	35.0%		

※ 実質赤字比率は-1.70%、連結実質赤字比率は-4.14%と算定されていますが、国からの通知により赤字比率がマイナスとなる場合は「-」で表示することとなっているため表記のとおりとします。また、連結実質赤字比率の中に含まれる公営企業会計(水道事業会計・下水道事業特別会計)に係る資金不足比率においても、それぞれ-64.3%、-0.4%となっていますが、同じく「-」で報告をしています。

## 【早期健全化基準および財政再生基準とは？】

財政の早期健全化基準を超えてしまった場合は、財政健全化計画を策定し、数値が基準内となるように自主的な改善努力を行うこととなります。具体的には事業を縮小したり、収入増のため町民の皆さんに使用料や手数料の値上げによる負担をお願いすることなどが考えられます。

財政の再生基準を超えてしまった場合は、国などの関与による確実な財政再生を行うこととなります。財政健全化計画の策定はもちろんのこと、地方債の借入れも制限され、新たな事業を行うことは難しくなります。また、国などの指導による再生となるため、町民の皆さんの相当な負担増が予想されます。平成24年度決算では、全国で夕張市だけが財政再生基準を超えています。

## 【今後の見通し】

現在のところ本町においては、上の表のとおり早期健全化基準などを超えておらず、今後についても基準を超えることは想定していません。しかし、財政状況が非常に厳しい状態であることには変わりがないため、引き続き徹底した歳出削減、歳入確保に努めていく必要があります。

問い合わせ先／役場まちづくり政策課財政係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

# オータムジャンボ宝くじ

## 1等・前後賞合わせで 3億9,000万円!

◆発売期間／10月10日(金)まで(売り切れ次第、発売終了)  
◆抽選日／10月17日(金)

この宝くじの収益金は、市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など、地域住民の福祉向上のために使われます。  
(町内では購入できません)



問い合わせ先／役場まちづくり政策課財政係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

# 第65回弟子屈町総合文化祭

展示部門／公民館 10月18日(土)～11月2日(日) 9時～18時30分 各最終日は16時まで

日程	場所	団体名
10月18日(土)	講堂	町民茶会 裏千家、高田社中会員一同
10月18日(土)～10月19日(日)	講堂	華道正光未生流、池坊リラの会
10月18日(土)～10月22日(水)	1階ロビー	グループホームあったか家、グループホーム家路、デイケアセンターたこ八、社会福祉法人てつなぎ
	研修室	摩周焼陶芸教室
10月20日(月)～10月23日(木)	講堂	香墨弟子屈習字勉強会、弟子屈郵便局、絵手紙摩周湖、摩周多夢窯教室
10月24日(金)～10月28日(火)	1階ロビー	町立弟子屈養護老人ホーム倭和園、弟子屈町老人デイサービスセンター
	研修室	おひさま保育園
10月25日(土)～10月28日(火)	講堂	弟子屈町屈斜路古丹アイヌ文化保存会、摩周フラワーマスター協会、きずなのなかま達、個人展、弟子屈点訳の会、ビタミン教室、公民館講座摩周焼陶芸受講生作品展
10月30日(木)～11月1日(土)	1階ロビー	弟子屈菊同好会
10月30日(木)～11月2日(日)	講堂	手編みサークル、木綿美キルトグループ、弟子屈短歌会、創作人形Youの会、アートフラワーマーガレット同好会、ステンシル ボタニカル アソシエーション

芸能部門／摩周観光文化センターアリーナ 10月26日(日) 10時開会

団体名
<b>午前の部</b> 弟子屈小学校吹奏楽少年団、弟子屈中学校吹奏楽部、弟子屈高等学校吹奏楽部、弟子屈町文化協会(月の摩周保存部)、摩周蝦夷太鼓保存会、奥春別小学校(鎧獅子舞)、山田流琴千会、リコーダーを楽しむ会、しらかば合唱会、美留和フラダンス同好会 <b>午後の部</b> 川湯ばやし保存会、川湯中学校川湯ばやし同好会、生田流琴友会、聖月流川湯支部、弟子屈町屈斜路古丹アイヌ文化保存会、東・北海道岳風会北釧路支部、川湯わんぱくダンスクラブ、I & Mパトンスタジオ、摩周さくら歌謡教室、摩周湖民踊会、摩周丘幼稚園、弟子屈宝生会、パトントワラー弟子屈教室、弟子屈町文化協会(弟子屈音頭)

問い合わせ先／町教育委員会社会教育課社会教育係 ☎ 4 8 2 - 2 9 4 8 (課直通)

## 木とのふれあいを楽しんでみませんか 2014弟子屈町木育週間を開催します

「木育(もくいく)」をご存じですか？木育は、子どもをはじめとする全ての人が『木とふれあい、木に学び、木と生きる』ことを目指す北海道生まれの取り組みです。子どものころから木を身近に使っていくことを通じて、人と、木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育む活動です。

町ではこの木育への取り組みの一環として、木育週間を次のとおり開催します。

- ▶日時／10月7日(火)～10月12日(日)の6日間、いずれも9時～16時
- ▶場所／町林業多目的センター(サワンチサップ3-5・旧クアハウス屈斜路)と周辺森林
- ▶内容

- ①10月7日(火)～10月12日(日)／一般開放(木のプールや木のおもちゃなどで遊んでみませんか)
- ②10月12日(日)／木育体験教室「道認定木育マイスター・萩原寛暢さんによる森林プログラム『木で遊ぼう！こども木育デー』」

※②は役場前からシャトルバスを運行します。詳しくはお問い合わせください。

▶参加料／①は無料・②は保険料として300円

▶対象・定員／①はどなたでも。②のみ小学校1～6年生・20人。(事前に電話で申し込みください)

※木育マイスター／木育を進めていくコーディネーター。平成22年度から北海道が認定。萩原さんは1期生。

申し込み・問い合わせ先／役場農林課林務係 ☎ 4 8 2 - 2 9 3 6 (課直通)



昨年の木育週間





## 釧路がん検診センターで 日曜検診を行います

日本人の死亡原因第1位は「がん」。  
がんを早期発見するには、検診を定期的に受けることが重要です。でも、平日にはなかなか時間が取れない…という方に朗報！釧路がん検診センターで日曜日に受診することができます。この機会にぜひ、検診を受けましょう。

▶期日／11月30日(日)  
▶受付時間／7時～10時  
※乳・子宮がん検診は、12時30分～13時にも受け付けできます。  
▶場所／釧路がん検診センター  
▶内容／特定健診、胃・肺・大腸・前立腺・乳・子宮がん検診  
▶予約方法／10月30日(木)～11月19日(水)に電話で申し込みください。  
※定員になり次第、締め切らせていただきます。  
※次回の日曜検診は、3月を予定しています。  
□申し込み・問い合わせ先／釧路がん検診センター ☎0154⑦3370まで。

## 水痘の予防接種が無料に

水痘(水ぼうそう)の予防接種は、これまで有料の任意接種でしたが、10月から定期接種となり、費用も無料となります。  
詳しくは、お問い合わせください。  
□問い合わせ先／役場健康推進課健康推進係 ☎482-2935(課直通)まで。

## 水道料金の助成を行っています

町では町内在住の高齢者世帯など、次の対象世帯の方に水道料金の一部助成を行っています。  
対象世帯に該当する方で、助成を希望される場合はお申し出ください。  
昨年度この助成金を受給している方は、世帯状況に変動がない限り自動的に継続しますので、あらためて申請する必要はありません。

▶対象世帯／本町に住民登録をし、水道料を納付している世帯で次のいずれかに該当する世帯。ただし、生活保護法による生活扶助を受けている世帯を除きます。

- ①身体障害者等世帯／身体障害者手帳(1級または2級)、または療育手帳(A判定)、精神障害者保健福祉手帳(1級)の交付を受けている方のいる世帯。
- ②母子世帯／配偶者のいない女性が18歳未満の子を扶養している世帯。
- ③高齢者世帯／70歳以上の方のみの世帯(夫婦の場合は一方が70歳以上でその配偶者が65歳以上の世帯を含む)・70歳以上の方と18歳未満の子や孫などのみの世帯。

▶助成金額／月額300円(年額3,600円)

※年度途中から対象世帯に該当となった場合は、その月から助成します。

▶申請方法／平成27年2月27日(金)までに、印鑑と振込先口座番号の分かるものをご持参の上、役場福祉こども課または川湯支所までお越しください。(来庁が困難な場合は電話連絡でも構いません)

問い合わせ先／役場福祉こども課社会福祉係 ☎482-2921(課直通)

## むし歯のなかったお子さんが 表彰されました！

歯ピカ表彰式

町では、3歳児健診でむし歯のなかったお子さんを毎年表彰しています。今年も9月6日に「歯ピカ表彰式」を行い、平成25年度の健診でむし歯のなかったお子さんに、賞状と記念品が贈られました。



一人一人に表彰状が

弟子屈町の子どもたちのむし歯は年々減ってきていますが、全道や全国平均と比較するとまだまだ多いのが現状です。また、むし歯が全くない子がいる一方で、むし歯が何本もある子がいるという課題があります。

町では、毎月の乳幼児健診時(午前中)に、希望者にフッ素の塗布を行っています。また、釧路管内他町村に先駆けて、小・中学校でのフッ素洗口事業にも取り組んでいます。

中学生までに生えそろう歯は、一生の宝物です。小さいころから歯によい生活習慣を身につけて、大切にしておきましょう。

□問い合わせ先／役場健康推進課健康推進係 ☎482-2935(課直通)まで。



表彰を終えて



かのう みなと ちゃん



そぶえ まさお ちゃん



ふくだ はな ちゃん



あらかき ゆい ちゃん



こいずみ しん ちゃん



よこやま りょう ちゃん



やまうち ゆうせい ちゃん

## ウイルス性肝炎の検査は「済めどらむ」



今月の保健師  
山口 洋子 さん

### 日本で多いのは ウイルス性の肝臓病

肝臓の病気というと、一般的にはアルコール性のものが多いと思われがちです。しかし現在、日本ではウイルス性の肝臓病が大半を占めています。中でも、B型・C型のウイルス性肝炎は300万人以上の感染者がいるとされています。ですが、自分が感染していることを自覚していない方が多くいます。

肝臓がんの原因の90%以上は、B型・C型のウイルス性肝炎です。原因がはつきりしているのでも、肝臓がんは予防可能ながんの一つといわれています。

しかし、肝臓が「沈黙の臓器」と呼ばれることから分かれるとおも、自覚症状が出るころには病状が非常に進んでいることが考えられます。主な自覚症状は「何

### 感染の原因として 一番多いのは

医療技術がまだ未発達で物品不足だった時代に、予防接種などは一人一針という状況になく、注射器が使い回されていたこともあり、知らないうちに感染していたという例が多く、肝炎訴訟として裁判にもなっています。訴訟のため予防接種の証明を求めて来る方もいますが、古い時代のことなので、役場に記録が残っていないこともあります。

となく体がだるい」「疲れやすい」「食欲がない」などですが、あくまで急性期に起こるものなので、慢性化したものはほとんど自覚症状がないようです。

自分が感染したことが分かった方は、定期的に医療機関を受診し、経過を見ていきましょう。

また、体に負担のかけない生活を心がけてください。体重の多い方は減量し、お酒やたばこはほどほどに、ストレスをためない、風邪や便秘に気をつけることなどが大切です。

### 肝炎ウイルス検査で 病気を未然に防ごう

肝炎検査は、血液でウイルスの抗体や抗原の検査をして、過去の感染の有無を調べるものです。町の総合検診でも検査を実施していますが、最近、献血をしたことのある方も必ず検査しています。

40歳以上で肝炎検査をしたことがない方、健康診断などで肝機能異常と言われたのに肝炎ウイルス検査を受けていない方は、ぜひ一度受けてみてください。

□問い合わせ先／役場健康推進課健康推進係 ☎482-2935(課直通)まで。





# 野菜をもお〜っと食べましょう!

お手軽野菜料理レシピ

## ジャガイモ

ジャガイモには、生食用(普段の料理に使用)、加工用(ポテトチップスなど)、でんぷん原料用など、用途に応じたさまざまな品種があります。本町では、主に8種類のジャガイモ(メークイン、キタアカリ、ワセシロ、ホッカイコガネ、紅丸、トヨシロ、コナフブキ、アーリースターチ)が作られ、その他に「インカの目覚め」などの品種も作られています。

本町のジャガイモは、寒暖の差や土壌条件などから、とてもおいしいと評価されています。

煮込み料理やサラダ、焼き物、揚げ物など、いろいろな料理を作ってみてはいかがでしょうか。

## ジャーマンポテト

### 【材料(2人分)】

- ジャガイモ 2個
- 玉ネギ 1/4個
- ウインナー 1本
- ハム 1枚
- バター 大さじ1/2
- ニンニクみじん切り ひとつまみ
- 塩・こしょう 適量
- レタス 2枚

### 【作り方】

- ①皮をむいたジャガイモは5mmくらいの厚さの半月切にして水にさらし、玉ネギは薄切りにする。ウインナーは斜め切り、ハムは食べやすい大きさに切る。
- ②ジャガイモを耐熱用の器に入れてラップをかけ、竹串が刺さるくらいまで加熱する。
- ③熱したフライパンにバターを入れて溶かし、ニンニクを炒める。香りが出てきたら、ジャガイモと玉ネギ、ウインナー、ハムを加えて、玉ネギがしんなりするまで炒める。
- ④塩・こしょうで味を整え、レタスを敷いた皿に盛りつける。

## ジャガイモの炒め煮

### 【材料(2人分)】

- ジャガイモ 大1個
- ニンジン 1/4本
- 玉ネギ 1/4個
- 豚肉(好みの部位) 40g
- 油 小さじ1
- だし汁 2/3カップ
- 砂糖 大さじ1
- 酒 大さじ1
- しょうゆ 小さじ2
- 塩 少々
- グリーンピース 適量

### 【作り方】

- ①皮をむいたジャガイモは食べやすい大きさに切り水にさらす。ニンジンは乱切り、玉ネギは1cmくらいの幅に切る。豚肉は一口大に切る。
- ③鍋に油を熱し、ジャガイモ、ニンジンを入れて軽く炒め、玉ネギとだし汁を加えて5分ほど煮る。調味料と豚肉を加え、野菜と豚肉に火が通るまで煮る。
- ④仕上げにグリーンピースを加えて軽く煮て、器に盛り付ける。(群羊社「実物大そのまま料理カード」より)

## じゃがいも団子のおやき風

### 【材料(6個分)】

- ジャガイモ 大3個
- でんぷん 100gくらい  
(ジャガイモのゆで具合で加減してください)
- 甘塩さけ 1切れ
- 長ネギ 5cm
- みそ 少々
- ごま 少々
- プロセスチーズ 3cm
- ロースハム 1枚
- 油 大さじ2
- バター 大さじ2

### 【作り方】

- ①さけは焼いて骨と皮を取ってほぐし、みじん切りの長ネギとごま、みそを混ぜて3等分する。プロセスチーズはサイコロ状に切り、粗く切ったロースハムと混ぜて3等分する。
- ②皮をむいたジャガイモは火が通りやすいよう粗く切り、ゆでて水気を切った後、軽く火にかけて水気を飛ばす。
- ③②が熱いうちにでんぷんを加え、もちっぽくなるようにつぶしながら混ぜ合わせ、6等分して①を包む。
- ④フライパンに油を熱して③を入れ、やや弱めの中央で両面がきつね色になるまで焼く。仕上げにバターを入れて、全体にからめるように焼く。  
※バターの苦手な方は、使わなくてもおいしくできます。

問い合わせ先/役場健康推進課健康推進係 ☎ 4 8 2 - 2 9 3 5 (課直通)

# 今年も『おとくDEしょう品券』を販売します!

弟子屈町商工会では、5,000円で1,000円お得な6,000円分の商品券「おとくDEしょう品券」(500円券×12枚つづり)を販売します。多くの皆様のご利用をお待ちしています。

今年は「お楽しみ抽選会」も行います。利用済みのしょう品券綴り表紙に「住所」「氏名」「電話番号」をご記入の上、参加店か商工会にお持ちください。

### ▶販売日時・場所

- 弟子屈地区(弟子屈町商工会事務所) 11月4日(火)~7日(金) 9時~19時/11月10日(月)~14日(金) 9時~17時
- 川湯地区(弟子屈消防署川湯支署) 11月4日(火)~7日(金) 10時~15時

※販売期間内であっても、完売した時点で終了となります。

▶使用期間/11月4日(火)~平成27年3月20日(金)

▶使用できるお店など/弟子屈町商工会員・摩周湖スタンプ会加盟店のうち登録店

### ▶販売方法

- 先着順で、1人20,000円分(4組)までとさせていただきます。
- 購入時にお名前を記入していただきます。
- 販売窓口にはらした方のみ販売します。(どなたかに頼まれたなどの分は販売しません)
- ▶使用方法/商品券を使ってお買い物をする際は、商品券を切り離さず1冊のままお持ちになり、その場で切り取ってご使用ください。



## 70歳以上の方に先行販売を行います(先着順)

▶先行販売期間・場所/10月27日(月)~10月30日(木)・弟子屈町商工会事務所

※先行販売期間内であっても、予定数量に達した時点で終了となります。

▶購入方法/ご本人が、運転免許証または保険証をお持ちの上、商工会にいらしてください。

※代理人による購入や電話での予約は受け付けません。

▶使用期間/11月4日(火)~平成27年3月20日(金)

問い合わせ先/弟子屈町商工会 ☎ 4 8 2 - 2 2 5 9

## 地域づくりを応援!!

平成26年度地域づくり活動支援事業

# 補助金交付希望団体を募集しています

地域の自主性と自立性を尊重し、町や地域にとって有効で、公益性が見込まれる事業に対し、補助することを目的とする「弟子屈町地域づくり活動支援事業補助金交付規則」に基づき、補助金交付希望団体の募集を行います。

### 【補助対象者】

町内において、地域づくり活動を継続的に推進する自治会およびコミュニティ団体など(会社法に定められている会社および営利団体を除く)

### 【補助金額】

補助対象経費の2/3以内(ただし、1事業につき10万円が限度です)

### 【補助対象事業】

- ①公益性が認められる事業
- ②地域の活性化につながる事業など  
(独立採算の事業・国、道もしくは町から別の補助金の交付を受けようとする事業は、対象となりません)

### 【補助対象例】

地域のイベントの開催、地域のための奉仕活動、セミナーの開催など

### 【募集期間】

随時(ただし、予算がなくなり次第終了します)

地域づくり活動支援事業補助金の利用状況(平成25年度実績)

実施団体	実施事業	事業内容および効果
すずらん丘自治会	すずらん丘地域まつり 2013	手づくり縁日などの開催で、地域住民のコミュニケーションを深め、さらに若手地域リーダーの育成をすることができた。

問い合わせ先/役場まちづくり政策課政策調整係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)





更科源蔵(さらしなげんぞう)  
●1904(明治37)年、弟子屈町熊牛原野(南弟子屈)に生まれ、1985(昭和60)年に81歳で逝去。東京麻布獣医学校を中退した後、尾崎喜八、高村光太郎に師事し、詩作を中心に郷土史、アイヌ文化研究など主に文学活動が続けた。  
▶弟子屈町で所蔵しているさまざまな資料を紹介する。

著書の検印などに使っていた自作のエゾシカ印



「コタン探訪帳」と「コタン探訪日記」



熊狩りで泊まった洞窟の前で  
右から八重九郎翁、大下カメラマン、永田洋平

## 「コタン探訪帳」から

「コタン探訪帳」は、更科が生涯の仕事とした「アイヌ文化」の謎を探し当てるための取材ノートです。ノートの1冊は1950(昭和25)年10月から始まり、1970(昭和45)年3月まで全部で19冊と、別冊「コタン探訪日記」があります。更科が一人で、あるいは仲間たちと北海道内のコタンを訪ね、古者たちからアイヌの人たちの言葉を教えられ、その言葉の奥にある精神文化の手がかりになるものを探し、書き留めたものです。

このノートが、更科がアイヌ文化を著した作品の数々を生む底本となっていました。その中で動植物に関するものには、屈斜路コタンの古老が語ってくれたものを書きまとめ、1942(昭和17)年に発表した「コタン生物記」があります。これを全編書き改め、1976(昭和51)年に刊行したのが「コタン生物記I・II・III」です。「コタン生物記」の動物植物267の項目を書き直したほか、さらに230項目が追加されています。

このノート類の、ある1ページに、更科と仲間たちが雪裡釧路管内鶴居村に住む古老を訪ね、知床山中の熊狩りに同行させてもらったことができたときのことが書かれています。

と語りました。

自然界の絶妙な力の平衡を乱すことへの戒めであって、自然界(神々の世界)へ敬虔な気持ちで臨むアイヌの人たちの精神文化の一つを更科たちは教えられていたのです。

(略)洞窟とか熊の穴に泊まる時には、洞窟の神に木幣(アイヌの祭具)をあげて挨拶をし、火を焚き、酒をつくる材料の米と麴を混ぜたアスクスリというのを、酒のかわりにあげて祈った。洞窟が乾いてくると石が落ちたりするが、決して「石がおちた」とはいわず「煤がこぼれた」といって、それが頭にぶつかっても悪口をいってほならない。また今にも落ちそうになっている石でもとってはいけない。もしそれをとると、とった者の頭の上に石が落ちるといふ。

(「コタン生物記II野獣・海獣・魚統編」ヒグマ)から)



### 図書館だより

中央2丁目4番1号  
☎(よいほんいろいろ) 482-1616

## 東京タクシードライバー

山田 清機/著

13人の運転手を見つめた現代日本・ノンフィクション。事実は小説より切なくて、少しだけ温かい。夢破れても人生だ。夢破れてから人生だ。著者の価値観がにじみ出る「長いあとがき」にも感動です。



おすすめの新聞

## 新刊案内

- 「働かないオジサンになる人、ならない人」 楠木 新/著
  - 「じぶんリセット」 小山 薫堂/著
  - 「熱狂なきファシズム」 想田 和弘/著
  - 「サクッとー化学実験」 山田 暢司/著
  - 「自分で決める人生の終い方」 樋口 恵子/著
  - 「子育てハッピーアドバイザー笑顔いっぱい 食育の巻」 松成 容子/著
  - 「かたつのも」 中島 京子/著
  - 「オロマップ・森林保護官樋口孝也」 吉村 龍一/著
  - 「うそ」 中川 ひろたか/著
  - 「不思議の国のシロウサギかあさん」 ジル・バシユレ/作
- たくさんのお待ちはお待ちしています！

## 散策のときにご利用ください

和琴フィールドハウスは、今年7月15日に新設された和琴半島の利用拠点です。

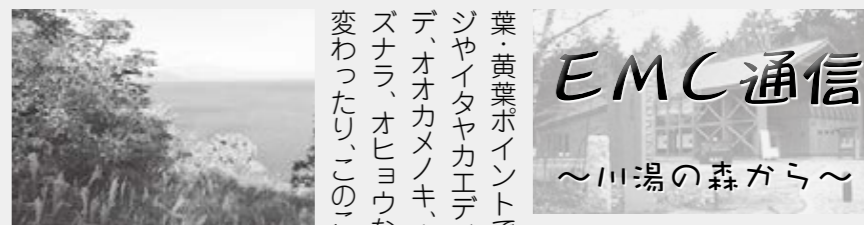
館内には開花情報のほか、樹木や野鳥、小動物などが実物標本で展示されています。屈斜路湖と和琴半島、オヤコツ地獄の成り立ちなども解説していますので、より理解が深められると思います。ガイドマップもご用意していますので、お気軽にどうぞ！

今シーズンは10月31日(金)まで開館しています。

▶開館時間/8時~17時  
▶入館料/無料



木の香り漂うフィールドハウスへ



## EMC通信

～川湯の森から～

緑一色だった風景の中に、カラフルな色が見られる時期となりました。今月のおススメは和琴半島の町内でも屈指の紅葉は、

## 自分なりの楽しみ方を見つけに

ませてくださいよ。甘い匂いが漂ってきたら、近くでかわいらしいハート形の葉が地面に降り積もっているはずですよ。散策路上に落ちてくる葉を踏みしめると聞こえてくるカサカサという音も、耳に柔らかく響きます。

色づき始めから散りぎわまで、刻々と違った表情が繰り広げられます。すっかり葉が落ちて木の枝だけになると、太陽の光が足元まで降り注ぎ、目前に迫った冬に備えて力を蓄えているような感じがします。

「なぜ秋になると葉の色が変わるのかな?」「どうして葉が落ちるのだろうか?」「なにごとを考えると、ただただ歩くのもよし。何も考えずに撮るのもよし。自分なりの楽しみ方を見つけると、散策が一層楽しくなりますよ。

川湯エコミュージアムセンター(EMC)

☎483-4100 URL [http://www6.marimo.or.jp/k\\_emc/](http://www6.marimo.or.jp/k_emc/) 10月は8:00~17:00開館(無休)



**開講します！  
弟子屈高校・公民館連携講座**

11月に、小学生から大人まで楽しめる数学・理科・体育など、いろいろな講座を開講します。簡単な実験や軽スポーツで楽しんでみませんか！  
詳細については近日、新聞折り込みチラシでご案内します。  
□問い合わせ先/町公民館 ☎482-2340まで。

**知らない弟子屈を再発見！  
ふるさと講座「歴史散歩」**



硫黄山で説明に聴き入る参加者

ふるさと講座「歴史散歩」が、9月7日に行われました。  
講座には11人が参加。講師に、てしかが郷土研究会の松橋秀和氏を迎えて、町内を巡りました。好天の中、摩周湖や川湯硫黄山、屈斜路コタンアイヌ民俗資料館などを訪れ、歴史や文化を学習。  
参加者からは「これからの講座に参加し、知らない弟子屈を学びたい」との声も聞かれました。

**オリジナル作品に挑戦  
摩周焼陶芸講座**



思い思いの作品作りに没頭

で開催され、33人が参加しました。初参加の方も多し、講師の指導を受けながら、自分だけのオリジナル作品を作ることができました。仕上げは摩周焼窯元の森雅子先生が担当。完成作品は、今月行われる町総合文化祭で展示されます。

公民館講座  
「摩周焼陶芸」  
9月1日、町公民館講堂

**海の子山の子  
ふるさと交流事業**



渡辺体験牧場で記念撮影

の子山の子ふるさと交流事業」が8月30日に開催されました。今年度は本町が会場。本町16人、白糠町10人の小学生が参加しました。渡辺体験牧場で牛の乳しぼりなどを体験した後、ボランティア手作りのカレーライスで昼食。午後からは屈斜路コタンアイヌ民俗資料館で歴史・文化に触れた後、金刺農場でトウモロコシもぎ。お土産ができた大喜びでした。

本町と白糠町の子どもたちが、交流体験を通じて自然や文化を学ぶ「海の子山の子ふるさと交流事業」が8月30日に開催されました。今年度は本町が会場。本町16人、白糠町10人の小学生が参加しました。渡辺体験牧場で牛の乳しぼりなどを体験した後、ボランティア手作りのカレーライスで昼食。午後からは屈斜路コタンアイヌ民俗資料館で歴史・文化に触れた後、金刺農場でトウモロコシもぎ。お土産ができた大喜びでした。



ゲームを楽しむ参加者(弟子屈学級)

「まきがい講座」で学んでいます。33人が参加してゲームを

**「まきがい講座」で学んでいます**

弟子屈学級では9月18日「室内運動・ゲームや交流ムで楽しむ」を、奥春別交流センターで行いました。



お稽古の成果を披露する受講生

発表会では、これまで練習してきた「チューリップ」「うさぎ」などを披露。集まった保護者などから大きな拍手が送られました。

行った後、奥春別地区の学級生に用意していただいた豚汁を食べながら楽しく交流しました。  
川湯学級では9月19日、鶴居村の方々のパークゴルフ交流会を鶴居村で行いました。じんわりと汗をかき、和気あいあいと交流を図り、楽しむことができました。  
▼今月のまきがい講座  
●弟子屈学級/「作る楽しさと技術を学ぼう」文化活動(手芸) 10月7日(火) 町公民館研修室  
●川湯学級/「近隣市町村を学ぼう」施設見学 10月10日(金) 網走方面

**公民館ロビー展**

9月17日から25日まで「夏休み児童生徒作品展」が開催されました。  
町内小・中学生が夏休みに取り組んだ絵画や自由研究など94点を



力作ぞろいの児童生徒作品展

**全道大会へ出場！**

(敬称略)



大会出場を報告する弟中陸上部の皆さん

▼第26回北海道中学校新人陸上競技大会(9月20日)帯広市▽濱岡凌平、番場美祐(以上弟子屈中学校2年)、松田瑠衣(同1年)



全道大会出場を決めた弟高テニス部の皆さん

▼平成26年度第36回北海道高等学校秋季テニス大会(10月6日)帯広市▽上西大地、辻早織、杉山明日香、藤江弥生(以上弟子屈高校2年)、星川海人、大浦綾花、原朱里、布施なつみ、上野絵里奈(以上同1年)

▼第13回北海道小学校地区対抗バドミントン選手権大会兼第23回全国小学生バドミントン選手権大会(10月5日)旭川市▽池上知乃新、井上義経、種田有希(以上川湯小学校6年)

**みんなの活躍を紹介**

▼全国大会結果(敬称略)  
▼平成26年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会兼秩父宮賜杯第67回全国高等学校陸上競技対校選手権大会(7月31日)から山梨県▽西田健修(弟子屈高校2年)八種競技37位・砲丸投げ26位  
▼第2回全国高等学校陸上競技選抜大会(8月30日)から大阪市▽西田健修(弟子屈高校2年)八種競技16位

**全道大会結果(敬称略)**

▼第69回国民体育大会陸上競技大会北海道選手権大会(8月16日)から室蘭市▽土佐大樹(弟子屈高校2年)100m予選敗退▽中島知明(同)100m予選敗退、やり投げ・13位▽濱岡浩平(同)400m予選敗退、400mハードル・準決勝敗退▽西田健修(同)やり投げ・8位、円盤投げ・9位▽久郷天就(同)5000m競歩・13位▽中谷つかさ(同)棒高跳び・記録なし▽西田千種(同1年)100mハードル・予選敗退、砲丸投げ・37位▽野下ちはる(同)やり投げ・20位

▼北海道ジュニア陸上選手権大会(9月8日)から小樽市▽濱岡凌平(弟子屈中学校2年)B1000m予選敗退、ジャベリックスロー・予選敗退  
▼平成26年度北海道中学校体育大

**ニュースポーツ交流会  
参加者を募集します**

▶日時/11月29日(土) 9時30分から  
▶場所/摩周観光文化センター  
▶対象/町内在住の小・中学生  
▶申し込み締め切り/11月21日(金)  
※当日は運動に適した服装で、上靴を用意してください。

□申し込み・問い合わせ先/町教育委員会社会教育課体育振興係 ☎482-2948(課直通)まで。



昨年のニュースポーツ交流会





AEDの操作方法に聴き入る参加者

## 楽しみながら火の用心

防火パークゴルフ大会



真剣勝負ながら和気あいあいと

会の活動周知と、地域の方の防火意識の向上を目的に毎年開催されています。競技の合間に行われた消火器の使い方やAED(自動体外式除細動器)の操作方法についての説明では、多くの質問が出るなど積極的な様子が見られ、参加者の防火意識が高まりました。

大会の結果は次のとおりです。  
(敬称略)

- ▼男子
- ▽優勝/木村新次郎
- ▽準優勝/酒井保
- ▽3位/谷内輝矢
- ▼女子
- ▽優勝/酒井繁子
- ▽準優勝/佐伯賀代子
- ▽3位/木村光子

## みこしの声 威勢よく

弟子屈神社例大祭  
川湯神社例大祭



活気あふれる弟子屈神社みこし(右上)  
子どもみこしも元気にパレード(上)  
たくさんの観客の前で  
鎧獅子舞を披露(右)



勇ましい川湯神社みこし(右)  
祭りを盛り上げた川湯ばやし(下)



元気いっぱいの子ども相撲

8月27日から29日には、川湯神社例大祭が行われました。28日に行われたみこし行列では、本みこしや子どもみこしが威勢のよい掛け声とともに練り歩きました。また同日、川湯神社境内で奉納相撲大会が行われ、川湯の保育園児・児童が熱戦を展開。訪れた保護者などから盛んに声援が送られていました。

弟子屈神社例大祭が、8月19日から21日にかけて行われました。20日に行われたパレードには、本みこしや弟子屈小学校の児童による子どもみこし、鎧獅子舞、バントワラー弟子屈教室、北響太鼓などが参加し、町内を練り歩きました。途中、数カ所で行われたバトンや獅子舞、太鼓の披露には、訪れた観客からたくさんの拍手が送られていました。また、神社前にはたくさんの出店が並び、家族連れなどでにぎわいました。

### 町の話



### 町の話

## 長寿を祝い長年の貢献に感謝

町内各地で敬老会



市街地区敬老会の様子



祝い品の贈呈(倭和園・摩周の合同敬老会)

9月15日の敬老の日にちなみ、長年の社会貢献と長寿を祝う敬老会が、町内各地で開催されました。

9月5日には、養護老人ホーム倭和園と特別養護老人ホーム摩周の合同敬老会が倭和園で行われました。会では、徳永町長、八幡町議長、八幡町議長からお祝いの言葉が贈られました。また、古希(70歳)、喜寿、米寿、白寿を迎えた方に祝い品が贈呈されたほか、さまざまなアトラクションも披露されました。

同日、屈斜路自治会(鈴木好美会長)でも敬老会が行われました。屈斜路研修センターで行われた敬老会では、古希、喜寿、米寿を迎えた方に祝い品を贈呈。アトラクションでは、和琴小学校(森敏隆校長)児童による「和つ子ソーラン」などが披露され、出席した皆さんを楽しませました。

屈斜路敬老会で遊戯を披露する和琴小児童

### 町の話



### 町の話

## 理解と交流を深めて

姉妹都市鹿児島県日置市の中学生が来町



役場を訪れた訪問団



自分でもいだトウモロコシに笑顔

姉妹都市中学生交流事業は1990年から隔年で行われ、今年で13回目です。今回は、東市来、上市来、両中学校の生徒が、それぞれ弟子屈、川湯の両中学校を訪問。歓迎セレモニーでお互いのまちや学校の紹介を行い、その後、体験授業や交流レクリエーションなどを通して一層親睦を深めました。また、摩周湖や屈斜路湖などを訪れたほか、姉妹都市締結のきっかけとなった永山在兼氏顕彰碑や、同氏が整備した阿寒横断道路も見学。さらに、そば打ちやトウモロコシの収穫、釧路川での川下りなど、弟子屈ならではのさまざまな体験を行いました。



弟子屈町と日置市に関するクイズで盛り上がる  
弟子屈・東市来両中学校の生徒たち

本町の姉妹都市である鹿児島県日置市の中学生姉妹都市交流派遣団14人が、8月25日(土)～28日(火)の日程で本町を訪れました。25日には役場を表敬訪問し、町職員などの出迎えを受けました。



**9月9日**  
**おいしいおそばを楽しんでください**  
**レストラン摩周が老人ホーム入所者を招待**



摩周そばを楽しむ皆さん

摩周観光文化センター内でレストラン摩周を営む和田義光さんが9月9日、

養護老人ホーム倅和園と特別養護老人ホーム摩周の入所者を招待し、約60人に摩周そばを振る舞いました。敬老の日を前に、感謝の意を込めて行ったもので、昨年引き続き2回目です。楽しみにしていた皆さんは、おいしそうにそばをすすっていました。また、外出できない入所者にも、ホームでの昼食にそばを提供しました。

**9月6日**  
**地域の役に立ちたい**  
**あすなろ道路が奥春別小校舎周辺を舗装**



手分けして丁寧に作業

あすなろ道路(株)道東営業所(今敏次所長)の皆さんが9月6日、奥春別小学校の環境整備を行いました。

子どもたちの喜ぶ顔を見たいと、社会貢献活動の一環として行ったもの。社員12人が参加し、丁寧な作業で校舎周辺の舗装を行いました。作業後は、子どもたちが早速、舗装された敷地で元気に活動していました。

**9月20日**  
**フィリピンについてもっと知りたい**  
**てしかが国際交流会が講演会を開催**



スライドを交えての説明

てしかが国際交流会(池上清子会長)主催の講演会が9月20日、川湯ビレッジで開催されました。

同会が2011年から行う国際交流イベント「もっと外国を知ろう」プログラムの一環で、今回で14回目。約30人が参加しました。今回のテーマはフィリピン。中標津在住のオリビア河口さんが「フィリピンから見た日本」、町内在住の田中直哉さん・徳子さんご夫妻が「日本から見たフィリピン」と題して経験をもとに話し、参加者の皆さんは興味深く聴き入っていました。

**9月13日**  
**やさしい目で動物を見つめて**  
**絵本作家・あべ弘士さんの講演会**



あべさんの話に聴き入る参加者

絵本作家のあべ弘士さんの講演会「どうぶつを語ろう!描こう!地球はどうぶつでいっぱいだ」(弟子屈町子ども読書活動推進実行委員会主催)が9月13日、社会老人福祉センターで開催され、親子連れなど約60人が参加しました。

旭山動物園(旭川市)の飼育員だったというあべさんは、動物を題材にした絵本で知られています。自身の経験をもとに動物の特徴などについて話したほか、絵本の読み聞かせも行われました。また、動物を描くワークショップも行われ、あべさんの指導のもと、お絵かきに挑戦しました。

**9月22日**  
**10月から屈斜路郵便局で指定ごみ袋を販売**  
**町と日本郵便が販売委託に係る協定書に調印**



町内4郵便局長も立ち会い

屈斜路郵便局で10月1日から、町廃棄物処理指定容器(ごみ袋)の販売を行うことになり、販売委託事務取り扱いに係る日本郵便(株)北海道支社(佐藤恭市支社長)との協定書調印式が9月22日、役場で行われました。式では、徳永町長と大西登志雄日本郵便(株)釧路地区連絡会統括局長が協定書を交わしました。

屈斜路地区では、ごみ袋取扱店が1月に閉店したため、町では新たな取り扱い方法を検討。4月から屈斜路郵便局に住民票などの証明書交付事務を委託したこともあり、ごみ袋販売の委託先としたものです。同支社が自治体からごみ袋販売を受託するのは道内で19例目、釧路管内では初めてです。

**9月21日**  
**森とふれあい人とふれあう**  
**原野のもりの木育ひろば**



木の皮を削る道具削馬を体験

てしかが自然学校(萩原寛暢代表)主催の「原野のもりの木育ひろば」が9月21日、弟子屈原野で行われました。道認定木育マイスターで環境教育や自然体験活動などのコーディネーターを行う萩原さんが、自然とのふれあいと参加者同士の交流の場として企画したもので、約10人が参加。森からまき用の木を運んだり、油圧式のまき割り機を使ってまき割りを行うなど、木や森とのふれあいを楽しみました。また、大人向けには、保湿クリーム作りやハンドマッサージも実施。たき火を利用した焼き芋やパウムクーヘン作りも行われ、楽しいひとときとなりました。

**8月23日**  
**管内乳牛の共演**  
**ホルスタイン共進会で本町の牛が大活躍**



優秀な牛が勢ぞろい

平成26年度釧路ホルスタイン共進会が8月23日、釧路市で開催されました。大会では、十勝家畜人工授精所の山口寿典氏が審査員に迎え、釧路管内の酪農家が入念に育てた乳牛を1頭1頭細かく審査。山口氏は釧路管内の乳牛改良のレベルの高さに驚いていました。

本町からは20頭が出陣され、部門別の1等1席を含む上位入賞牛11頭が9月27・28の両日、勇払郡安平町で開催される全道共進会への出場を決めました。仕事の合間を縫って乳牛改良に取り組む皆さんの努力が実ったのは大変うれしいことで、さらなる活躍が期待されます。

**カメラスケッチ**  
**広報が行く!!**



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課政策調整係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

**8月31日**  
**町内最後の開催**  
**おひさま保育園の運動会**



帽子のリボンを狙う逃げ遅れて取って!

おひさま保育園(清水節子園長)の運動会が8月31日、同園グラウンドで開催されました。今年度の町内の運動会としては、同園が最後の開催です。

好天にも恵まれ、園児は元気いっぱい。かけっこや趣向を凝らした団体競技、お遊戯など練習の成果を披露し、保護者などから大きな声援が送られました。

**8月26日**  
**長い間きれいな花をありがとう**  
**美留和小学校に郵便局から感謝状贈呈**



感謝状を手に

美留和小学校(楠勉校長)の皆さんに8月26日、美留和郵便局からの感謝状が贈られました。同校では2003年から毎年、同郵便局やJR美留和駅などに、児童が花を植えたプランターを設置して、地域の環境美化に努めています。これにより郵便事業に協力したとして、今回の受賞となりました。贈呈式は同校で行われ、小野朗局長から児童会長の阿部宏紀君に感謝状が手渡されました。釧路管内では今年度、日本郵便(株)北海道支社長感謝状が1人、地域の郵便局長感謝状が同校を含む2人5団体に贈られています。

**9月6日**  
**いざというときに備えて**  
**救急フェアで応急手当などを学ぶ**



心臓マッサージを学ぶ参加者

弟子屈消防署主催の救急フェア2014 in 摩周が9月6日、道の駅摩周温泉で開催されました。

9月9日の「救急の日」を前に、いざというときの応急処置を学んでもらおうと開催されたもの。参加した方は、心肺蘇生法のほかAED(自動体外式除細動器)の使い方や骨折処置などを学び、救急時への備えを再確認していました。また、救急車内の見学や非常食の試食も行われました。

**9月6日**  
**たくさん子どもたちでにぎわう**  
**子どもフェスティバルを開催**



人気を集めた教育大のコーナー

第11回子どもフェスティバル(同実行委員会主催)が9月6日、町公民館で開催され、多くの子どもたちが訪れました。

会場には、折り紙・ペーパークラフトや伝承遊び、お琴体験、手作りおやつなどのコーナーが用意されたほか、北海道教育大学釧路校の学生の皆さんと一緒に工作や実験を行うイベントも行われました。また、3歳児健診でむし歯のなかったお子さんの表彰式も行われました。



### 保育料の一部を助成

町では、子育て世帯に対する新たな支援策として、保育料の一部助成制度を始めます。

保育所や幼稚園に通うお子さんがいる世帯に対し、負担した保育料や入園料の3分の1を助成金として交付することで、子育て世帯の経済的負担の軽減を図り、子育てしやすい環境の充実に努めます。

申請方法や受付期間などは、保育所や幼稚園を通じて保護者の皆さんにお知らせします。

□申し込み・問い合わせ先／役場福祉課 児童福祉係 ☎482・2921(課直通)まで。

### 長期結婚のお祝いの品を贈呈します

町では、結婚50年目の「金婚」と、60年目の「ダイヤモンド婚」を迎えられたご夫婦に、お祝いの品を贈っています。

今年度は、次の年に結婚されたご夫婦が対象となります。(入籍日を基準とします)

- 金婚：昭和39(1964)年
- ダイヤモンド婚：昭和29(1954)年

該当する方は、11月28日(金)まで。

### 名木ツアーの参加者募集

町と根釧西部森林管理署では、平成18年に指定した「弟子屈町名木」の、紅葉を中心に巡るツアーを開催します。皆さん、お誘い合わせの上、ご参加ください。

□申し込み・問い合わせ先／役場福祉課 社会福祉係 ☎482・2921(課直通)まで。

### 文化センター使用に係る会議を開催

摩周観光文化センターの冬季アリーナ使用に関する打ち合わせ会議を開催します。

新たに使用を希望する団体は、同センターまでお問い合わせください。

▼日時／10月8日(水) 19時

### 10月21日、27日は行政相談週間です

行政相談委員は、皆さんと行政のパイプ役です。「道路がどこぼこになっているので補修してほしい」「登記や社会保険について

▼場所／摩周観光文化センター 2階研修室

▼内容／11月1日(土)～平成27年5月30日(土)の使用割り当て会議。(日曜日を除く18時～21時に使用を希望する団体対象)

□問い合わせ先／摩周観光文化センター ☎482・1811 まで。

て聞きたいことがある「役所に相談したいが、どこの窓口に行けばよいか分からない」などの相談はありますか。国の行政などに関する相談を、行政相談委員までお寄せください。

▼行政相談週間の相談所開設

行政相談委員が、住民の皆さんからの行政に対する苦情や意見、要望などの相談に応じます。相談は無料で、秘密は守られます。

- 期日／10月23日(木)
- 時間／場所

10時～正午 II 川湯消防会館  
13時～15時 II 屈斜路研修センター

相談は行政相談所以外でも受

### 道東一斉すずらん無料法律相談を開催

▼日時／10月28日(火) 10時～16時(予約制・一人30分)

▼場所／町公民館

### 道の駅の花を自宅

町では、観光客を町民の皆さんで温かく迎える取り組みとして「弟子屈町花いっぱい運動」を推進し、町内全体に花の植栽を実施しています。

今年度の事業も終盤を迎え、道の駅の植栽も秋の模様替えを行います。夏季の花を自宅に彩り越冬させ、春にご自宅の庭を彩

### 生活情報をみなさんにお知らせ!



### 連絡先

- 役場 ☎482-2191
- 川湯支所 ☎483-2043

### 文化センターガイド 10月 アリーナ町民開放日

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
区	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
分					◎		休					◎		休		
日	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1
区	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
分						休						休				

◎=全面 休=休館日 (時間帯は18:00～21:00です)

9月9日現在の予定ですので、町民開放利用を希望する方は、文化センターにあらかじめお問い合わせください。

### 今月の主な行事予定

- 2日 東京都立青井高等学校修学旅行(荒天時)
- 5日 防火ソフトバレーボール大会
- 11日 第5回ジュニア防犯王争奪選手権大会
- 12日 弟子屈町民ミニテニス大会
- 18・19日 エホバの証人の北海道第2巡回区大会
- 25・27日 第65回弟子屈町総合文化祭

問い合わせ先  
釧路圏摩周観光文化センター ☎482-1811

### 10月 川湯屋内プールのお知らせ ☎483-2072

- 初心者水泳教室(一般成人)
  - ◇日時／5、12、26日 14時～14時45分
- がんばれ水泳教室(25メートル泳げる成人)
  - ◇日時／1、3、⑧、10、15、17、22、24、29、31日 14時～14時45分
  - ※〇は送迎バスあり(13時10分 公民館前発)
- 水中運動教室(一般成人)
  - ◇日時／2、4、⑨、11、16、⑬、25、30日 14時～14時45分
  - ※〇は送迎バスあり(13時10分 公民館前発)
- 水中ジョギング教室(一般成人)
  - ◇日時／1、8、15、22、29日 10時30分～11時15分
- ナイト水中ジョギング教室(一般成人)
  - ◇日時／3、10、17、24、31日 19時～19時45分
- フリー教室(幼児・小学生教室参加の保護者)
  - ◇日時／4、5、11、12、25、26日 10時30分～11時15分
- 幼児水泳教室(幼児3～5歳)
  - ◇日時／5、12、26日 10時30分～11時15分
- 小学生水泳教室(初めて水泳を習う小学生)
  - ◇日時／4、11、25日 10時30分～11時15分
- 選手コース(摩周スイミングスクール所属)
  - ◇日時／1、2、3、4、5、8、9、10、11、12、13、15、16、17、22、23、24、25、26、29、30、31日 15時～17時



- 利用料
  - 小・中・高校生／無料
  - 一般／540円(税込み)
- 休館日
  - 今月の休館日 (6、7、14、18、19、20、21、27、28日)
- 開館時間
  - 10時～17時(水・木・金・土・日)
- 毎月第2・4土曜日は無料開放日!

### 行政書士制度広報月間に相談会を開催

行政書士は、行政書士法に基づく国家資格者です。皆さんからの依頼を受け、報酬を得て、役所に提出する申請書類の作成と提出手続きの代行、遺言書など権利義務・事実証明・契約書の作成などを行っています。ぜひ、ご利用ください。

10月の行政書士制度広報月間に合わせて、相談会を開催します。

①行政書士無料相談会

▼日時／10月16日(木) 10時～15時

▼場所／釧路市役所1階ギャラリー(釧路市黒金町7丁目5)

②民間賃貸住宅トラブル相談会

▼日時／10月28日(火) 10時～15時

▼場所／北海道行政書士会釧路支部(釧路市米町3丁目1-3)

□問い合わせ先／北海道行政書士会釧路支部 ☎0154-④1330 まで。



# おはなしはらっぱ

10月

テーマ『いっぱいたべよう!』

- ☆4日/『サラダでげんき』 ほか2冊
- ☆11日/『ハンバーグ・ハンバーグ』 ほか2冊
- ☆18日/『がまんのケーキ』 ほか2冊
- ☆25日/『だっこのおにぎり』 ほか2冊

○時間/午後1時～ ○場所/弟子屈町図書館  
おはなしはらっぱは毎週土曜日午後1時! みんな集まれ!

## 必ずチェック 最低賃金! 使用者も労働者も

北海道内で事業を営む使用者と、その事業場で働く全ての労働者(臨時・パート・タイマー・アルバイトなどを含む)に適用される北海道最低賃金(地域別)が、左のとおり改正されます。

### 北海道最低賃金

時間額

748円

平成26年10月8日発効

□問い合わせ先/厚生労働省北海道労働局労働基準部賃金課 ☎011-709-2311(内線)3533、または釧路労働基準監督署 ☎0154-9711まで。

## 10月の町税などの納期限

今月の町税などの納期限は次のとおりです。納め忘れないようにしましょう。

- ▶町・道民税3期 10月31日(金)
- ▶国民健康保険税5期 10月31日(金)
- ▶後期高齢者医療保険料5期 10月31日(金)
- ▶介護保険料3期 10月31日(金)

## 夜間納税窓口開設のお知らせ

日中、仕事などで役場に来られない方々のために、次の日程で「夜間納税窓口」を開設します。ぜひ、ご利用ください。

- ▶開設日/10月22日(水)
- ▶開設時間/午後8時まで
- ▶開設場所/役場庁舎・川湯支所

□問い合わせ先/役場税務課 ☎482-2914(課直通)まで。

納税窓口



# 町営住宅 入居者を募集します

役場では、次の期間で町営住宅入居者を募集します。入居者は、条件を備えている方から、困窮度などに応じて決定します。

- ▶受付期間/10月2日(水)～10月9日(水)(土・日曜日を除く)
- ▶受付窓口/役場建設課管理係・川湯支所
- ▶入居時期/10月下旬～11月上旬の予定
- ▶入居敷金/住宅料(月額)の3倍の額(緑団地単身者用は住宅料の2倍の額)

※入居要件、入居基準など、詳しくはお問い合わせください。

※入居しようとする方、同居しようとする親族などが暴力団員である場合は、入居が認められません。

□問い合わせ先/役場建設課管理係 ☎482-2941(課直通)まで。

### 公募対象住宅一覧表

団地名・構造	建設年度	規模	月額住宅料	戸数	備考
美留和団地(簡易耐火平屋建)	S52	3DK	9,000～13,400円	1	53.61㎡
※緑団地(中層耐火4階建)	H3	3DK	20,700～30,900円	1	71.67㎡(3階)

注1 ※印の団地は、管理費が毎月200～3,000円程度かかります。(団地によって異なります)  
注2 場合によっては募集内容を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

## 動物駆逐用煙火(連続発射式)による事故にご注意ください!

鳥獣など動物を追い払うための煙火(花火)を使用中に、持ち手部分が破裂し、指を負傷する事故が昨年末から4件発生しています。連続発射式の動物駆逐用煙火は、一般的な花火とは異なり、大きな音を出すための威力の強い火薬が使われています。使用の際は取扱説明書をよく読んで使用方法を守りましょう。また、次の点にも注意してください。

- ▶製品は直接手に持たず、杭などに固定して使用すること。
- ▶やむを得ず手に持って使用する際は、専用手持ち用ホルダーを使用すること。ゴーグル、耳栓、皮手袋なども着用すること。
- ▶ホルダー使用の際は底面に触れず、ホルダーの下側を持つこと。底面は体に向けず、ホルダーはできるだけ体から放すこと。
- ▶使用前に、ホルダーに異常がないか確認すること。

□問い合わせ先/経済産業省北海道産業保安監督部保安課 ☎011-709-2311(内線2746)まで。  
URL <http://www.meti.go.jp/press/2014/07/20140725004/20140725004.html>

## 無料調停相談を行います

- ▼主催/釧路調停協会
- ▼日時/11月4日(火) 10時～15時(予約不要)
- ▼場所/釧路市役所1階ロビー(市民ギャラリー)
- ▼相談担当/調停委員(釧路調停協会所属)
- ▼相談内容/夫婦関係、遺産相続、土地建物、金銭貸借、交通事故など家事・民事に関するトラブル。
- ▼相談料/無料(秘密は守られます)
- ▼問い合わせ先/釧路調停協会事務局(釧路簡易裁判所内) ☎0154-4171 内線111番まで。

## 休日公証相談を行います

- ▼日時/10月18日(土) 10時～16時
- ▼場所/釧路公証人役場(釧路市末広町7丁目2番地金森ビル)
- ▼相談内容/遺言、相続、任意後見、尊厳死宣言、お金の貸し借り、賃貸借、離婚に伴う養育費、慰謝料・財産分与など。
- ▼相談料/無料
- ▼申し込み方法/相談を希望される方は、10月17日(金)までに

電話で予約してください。  
□予約・問い合わせ先/釧路公証人役場 ☎0154-251365まで。

## 法務局なるほど講座

釧路地方法務局では、法務局が取り扱う業務について皆さんに理解を深めていただくことを目的に「法務局なるほど講座」を開催します。

- ▼日時/11月10日(第1回)・11月17日(第2回)、いずれも13時30分～16時15分
- ▼内容
  - 第1回/相続と登記について・人権の擁護について(高齢者・障がいのある人への理解や思いやりを深めよう)
  - 第2回/ご存じですか? 筆界特定制度(土地の境界を確定させるには)・成年後見登記制度について
- ▼参加料/無料
- ▼定員/各回30人
- ※どちらか1回のみ参加も、2回全ての参加も、いずれも可能です。
- ▼申込受付期間/10月1日(水)～10月31日(金)
- 申し込み・問い合わせ先/釧路地方法務局総務課 ☎0154-5010(音声案内「3」)まで。

## 釧路市立博物館主催 釧路のバス見学会

釧路市立博物館では、バス見学会「跡佐登の硫黄鉱山と釧路鉄道を訪ねて」を開催します。道内2番目の鉄道だった釧路鉄道の線路跡を訪ねながら、跡佐登の鉱山跡を見学します。

- ▼日時/10月26日(日) 9時～17時
- ▼集合場所/役場前
- ▼参加料/50円(保険代)
- ▼定員/30人
- ▼申し込み/10月1日(水)～10月19日(日)、はがきかファクスで申し込みください。
- 申し込み・問い合わせ先/釧路市立博物館 ☎0855-0822 釧路市春湖台1-7 ☎0154-5809、☎0154-6000まで。

## 釧路短大の社会人入試説明会を開催

釧路短期大学では、第2回社会人入学説明会を開催します。参加を希望される方は、10月14日(火)までご連絡ください。

- ▼日時/10月15日(水) 19時
- ▼場所/釧路短期大学
- ▼内容/特別な入試制度や生涯学習奨励金など特典の説明、卒業・在学社会人学生との懇話など
- 問い合わせ先/一般社団法人

談など  
□問い合わせ先/釧路短期大学入試事務局 ☎0154-65124まで。

## 電気暖房器具の定期的な点検を

長年使用した電気毛布・電気ミニマット・電気カーペットで、経年劣化による火災事故が起きています。事故を未然に防ぐため、日頃から点検を行いましょう。少しでもおかしいと思ったら、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、メーカーや販売店にご相談ください。

- ▼チェック項目
  - ヒーター線が重なったり、ループ状になったり、折りぐせがついたりしていないか。
  - 表面が変色したり、傷がついたり、ヒーター線が露出したっていないか。
  - ソファやクッションなどの上に置いて使用していないか。
  - 使用していないときに電源プラグを差したままにしているか。
  - スイッチを入れても暖かくならないことはないか。
  - 電源コードやコントローラーが熱かったり、においがしたりしていないか。
- 問い合わせ先/一般社団法人

日本電機工業会暖房機専門委員会 ☎03-3556-5887まで。URL <http://www.jema-net.or.jp/>

## 寄付ありがとうございました

- 深谷 伊三雄 様(美留和)
- ▼現金 10万円
- 町に役立ててほしい。
- 摩周の里女性会 代表 鎌田 ケイ子 様
- ▼現金 3万円
- 将来を担う子どもたちのために、奨学資金として役立ててほしい。
- 佐藤 稔 様(釧路市)
- ▼現金 5千円
- 学校教育の振興に役立ててほしい。(学校図書購入費)
- 岩原 勝 則 様(美留和)
- ▼現金 5万円
- 亡母(岩原光子)が生前、町にお世話になったお礼として、社会福祉に役立ててほしい。
- ▼現金 5万円
- 亡父(岩原孝)が生前、町にお世話になったお礼として、社会福祉に役立ててほしい。
- 畑 光昭 様(東京都)
- ▼現金 5万円
- 町に役立ててほしい。
- 宮崎 誓 様(埼玉県)
- ▼現金 5万円
- 町の発展に役立ててほしい。
- 森島 正一 様(泉3)
- ▼現金 1万円
- 亡母(森島きよ)が生前、町にお世話になったお礼として、社会福祉に役立ててほしい。



# Monthly Schedule

日	月	火	水	木	金	土
記号の見方 ①～健診や子育て相談など ②～行政相談、人権相談 ③～保育園開放など ④～子育て支援センター開放など ⑤～税の納期など ⑥～イベント、その他			①特定健診・がん検診など(福祉センター・6:00～) ②保育園開放「遊んDay」(おひさま保育園/川湯保育園・9:00～) ③ベビーマッサージ教室(福祉センター・14:00～)	①特定健診・がん検診など(福祉センター・6:00～) ②ひなたぼっこ開放「0～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30)	③ひなたぼっこ開放「0～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30)	④おはなしはらっぱ(図書館・13:00～)
5	③ひなたぼっこ開放「0～1歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30) ④健康相談(役場・10:00～) ⑤母子手帳交付(役場・10:00～)	③木のおもちゃで遊ぼう(林業多目的センター【現地集合】) ④9・10カ月児相談(福祉センター・10:00～)	①保育園開放「遊んDay」(おひさま保育園/川湯保育園・9:00～) ②ひなたぼっこ移動開放「0～3歳」(川湯駅前交流センター・9:30～11:30) ③ベビーマッサージ教室(福祉センター・14:00～) ④松浦武四郎記念館名誉館長講演会(公民館・19:00～)	③ひなたぼっこ開放「0～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30)	③ひなたぼっこ開放「0～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30)	④おはなしはらっぱ(図書館・13:00～)
12	13	14	16	17	18	
④第65回町総合文化祭展示部門(公民館・9:00～)	④第65回町総合文化祭展示部門(公民館・9:00～) ③ひなたぼっこ開放「0～1歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30) ④健康相談(役場・10:00～) ⑤母子手帳交付(役場・10:00～)	④第65回町総合文化祭展示部門(公民館・9:00～) ③ひなたぼっこ開放「2～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30)	④第65回町総合文化祭展示部門(公民館・9:00～) ①保育園開放「遊んDay」(おひさま保育園/川湯保育園・9:00～) ②乳児・3歳児健診(福祉センター・9:15～) ③フッ素塗布(福祉センター・10:00～) ④予防接種「BCG」(福祉センター・14:30～)	③ひなたぼっこ開放「0～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30)	③ひなたぼっこ開放「0～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30)	④第65回町総合文化祭展示部門(公民館・9:00～) ④おはなしはらっぱ(図書館・13:00～)
19	20	21	22	23	24	25
④第65回町総合文化祭展示部門(公民館・9:00～) ④第65回町総合文化祭芸術部門(摩周観光文化センター・10:00～)	④第65回町総合文化祭展示部門(公民館・9:00～) ③ひなたぼっこ開放「0～1歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30) ④健康相談(役場・10:00～) ⑤母子手帳交付(役場・10:00～)	④第65回町総合文化祭展示部門(公民館・9:00～) ③ひなたぼっこ開放「2～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30)	④第65回町総合文化祭展示部門(公民館・9:00～) ①保育園開放「遊んDay」(おひさま保育園/川湯保育園・9:00～)	④第65回町総合文化祭展示部門(公民館・9:00～) ③ひなたぼっこ開放「0～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30)	④第65回町総合文化祭展示部門(公民館・9:00～) ③ひなたぼっこ開放「0～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30)	④第65回町総合文化祭展示部門(公民館・9:00～)

■問い合わせ先 / ①健康推進課 ☎482-2935 ②環境生活課 ☎482-2934 ③税務課 ☎482-2914 ④おひさま保育園 ☎482-2444 ⑤子育て支援センター「ひなたぼっこ」 ☎482-5667

●編集後記●  
 ▼「当たり前」になってしまっている大切なこと、素晴らしいこと、ありのままの「当たり前」をあらためて見つめ直し、「当たり前」が「当たり前」として在り続けていることの幸せに気づいて感謝し、守っていくこと。それが、未来に明かりをともすために私ができる一つかもしと特集を書き終えて思いました。(宮田)

●人のうごき ● 8月末現在

●人口計 7,902人 (マリス11)  
 ●世帯数 3,973世帯 (マリス3)

●お誕生おめでとうございます

湯浅 結月ちゃん(憲二) 鈴蘭5  
 藤田 ゆきちゃん(弘幸) 屈斜路  
 林 蒼馬ちゃん(正大) 泉2

●お悔やみ申し上げます

石澤 カヲルさん(105歳) 桜丘3  
 岩原 學さん(83歳) 美留和  
 岩原 光子さん(81歳) 美留和  
 及川 初枝さん(64歳) 泉4  
 鹿又 辰善さん(84歳) 奥春別  
 中嶋 郁子さん(58歳) 川湯温泉1  
 中多 健さん(82歳) 美里4  
 野下 忠儀さん(84歳) 屈斜路  
 深谷 伊三郎さん(92歳) 美留和  
 村井 載さん(86歳) 鶴別  
 村山 道子さん(81歳) 美里6  
 吉野 孝さん(90歳) 中央2  
 米田 貞義さん(78歳) 鈴蘭1  
 和田 淳さん(75歳) 川湯温泉5  
 和田 数江さん(88歳) 屈斜路  
 武田 勘七さん(94歳) 美里4  
 伊藤 益尾さん(79歳) 美留和  
 築地 繁治さん(88歳) 仁多

※お誕生とお悔やみは、8/1～8/31に弟子屈町に届け出をされた方のうち、掲載を希望された方のみ掲載しています。弟子屈町以外に届け出をされた方で掲載を希望される方は、役場環境生活課町民係までご連絡ください。

## ひとつになつたよ

荒木 幸翔 ちゃん 8/20  
 石塚 結衣 ちゃん 8/20  
 小野寺 愛夏 ちゃん 8/20  
 小西 楓菜 ちゃん 8/20  
 小林 葵 ちゃん 8/20  
 佐々木 優翔 ちゃん 8/20  
 菅原 凪 ちゃん 8/20  
 本間 元大 ちゃん 8/20  
 吉田 航 ちゃん 8/20  
 岩切 大和 ちゃん 8/20  
 福原 大翔 ちゃん 8/20

## 秋の火災予防運動を実施します!

運動期間 10月15日(水)～10月31日(金)

運動期間中は、町内全域を対象に巡回広報を行います。また、一般住宅防火診断による住宅用火災警報器の設置普及率調査のため、今年度は美里地区(1丁目～6丁目)の各家庭を職員が訪問しますので、ご協力をお願いします。

### 火災予防運動期間中の主な行事

防火ソフトバレーボール大会	街頭広報	火の用心パークゴルフ大会
▶日時/10月5日(日) 9時10分～ ▶場所/摩周観光文化センター	▶期日/10月15日(水) ▶場所/摩周湖農協前(11時～) フクハラ前(15時～)	▶日時/10月26日(日) 8時～ ▶場所/銚別河川敷パークゴルフ場 ▶申し込み締め切り/10月23日(木)

※AEDを使用した救命講習も行いますので、多数の参加をお待ちしています。  
 ※各店舗前で各防火団体が予防広報を実施します。粗品も用意しています。  
 ※参加者全員に参加賞・ラッキー賞など、多数の賞を用意しています。

## 火事と救急は119番 弟子屈消防署

8月末までの出動件数  
 火災 弟子屈 3件  
 川湯 0件  
 救急 弟子屈 331件  
 川湯 96件

☎482-2073 E-mail:teshikaga.fire.119@bird.ocn.ne.jp